令和７年度

福岡市美術館
活 動 の 記 録

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2025

目　　次

凡例 3

美術館の主要事業 4
- 美術館日誌 4
- 今月のアート 5
- 第4回福岡アートアワード 6

展示活動 7
- 特別企画展 7
- 公募展 9
- コレクション展 10
- 企画展 14
- 展覧会関連記事 17

教育普及活動 19
- どこでも美術館 19
- スクールツアー 21
- つきなみ講座 23
- 福岡ミュージアムウィーク2025 24
- 夏休みこども美術館2025 25
- ファミリーDAY 26
- バリアフリーギャラリーツアー 27
- 第11回いきヨウヨウ講座 28
- 博物館実習 28
- 職場体験学習 28
- やさしい日本語ツアー 29
- 図書企画 29
- ボランティア活動 30
- 出版物 34

連携・協力事業 36
- 連携企画 36
- 協力事業 36

調査・研究活動 37
- 館外調査 37
- 紀要の発行 37

収集活動 38
- 美術資料 38
- 図書・映像資料 41

美術資料の修復・貸出 42
- 修復 42
- 貸出 42

美術館リニューアル事業 45
- 広報業務 45
- カフェ・レストラン 46
- ミュージアムショップ 47

施設の利用状況 48
- 展示室 48
- ミュージアムホール等 54
- 令和7年度月別観覧者数 54

名簿 55

資料 57

凡　例

本冊子は福岡市美術館の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの活動の記録である。

本冊子の執筆者は次のとおり。それぞれの肩書きについてはp.55の名簿を参照のこと。
姜知潤、後藤恒、﨑田明香、篠崎未来、髙田瑠美、忠あゆみ、冨坂綾子、中務美紀、宮田太樹、ラワンチャイクン寿子、渡抜由季（以上、学芸課）、木村優紀（事業管理課）、島由貴（広報運営グループ）。

データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料（8）および奥村資料（10）であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に移管した。

1　郷土作家（注1）	A　油彩画等（注2）	作品番号
2　日本作家	B　日本画等（注3）	
3　海外作家	C　水彩画等（注4）	
4　黒田資料	D　素描	
5　東光院仏教美術資料	E　版画	
6　松永コレクション	F　写真	
7　太田コレクション	G　彫刻等（注5）	
9　石村コレクション	Ha~Hf　工芸（注6）	
11　森山コレクション	I　書跡	
12　三宅コレクション	J　文書	
13　山崎朝雲資料	K　その他	
14　一般古美術資料	L　映像	
15　研究資料		
16　西本コレクション		
17　本多コレクション		
18　クスマコレクション		
19　藤森静雄コレクション		
20　森田コレクション		
21　川村コレクション		
22　栗田コレクション		
23　リーコレクション		
24　小西コレクション		
25　門田コレクション		
26　教育研究資料		
27　福岡アートアワード受賞作品		
28　一杉コレクション		

例）1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注
1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A（油彩画等）の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C（水彩画等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

令和7年

5月17日(土)　福岡ミュージアムウィーク2025（5月25日まで）
10月11日(土)　珠玉の近代絵画―「南国」を描く。(11月24日まで)
11月　2日(日)　ファミリー DAY（11月3日まで）
11月17日(月)　美術資料収集検討会(古美術)(オンラインにて実施)
12月13日(土)　特別展　古代エジプト―掘り起こせ、三千年の謎―(令和8年3月8日まで)
12月21日(日)　美術資料収集検討会(近現代美術)(古美術)(オンラインにて実施)

令和8年

1月　5日(月)　美術資料収集審査(古美術)
1月 25日(日)　美術資料収集審査(近現代美術・福岡アートアワード)
3月24日(火)　第57回福岡市美術展(3月29日まで)
3月28日(土)　第4回福岡アートアワード授賞式、受賞作品展(6月21日まで)

今月のアート

趣旨

市長定例会見時に、福岡拠点のアーティストの作品を掲示し紹介するとともに、市役所9階特別応接室に展示した。今年度より隔月（奇数月）展示を実施。

市長会見展示作品

令和7年	5月	岸本　爽《水光の鳥》2025年
	7月	おれちょ　本多《七星天道虫》2024年
	9月	天野　百恵《山の中の光》2021年
	11月	Ponida List《The Monarchy of Fruit》2025年
令和8年	1月	われたメガネ峰太郎×しんかいの何か《They were made up of hundreds and hundreds of pure, shining crystals, like fragments of glass or spun sugar.（それらは何百何千もの純粋で輝く結晶でできており、まるでガラスの破片や綿菓子のようです。）》2025年
	3月	—

設置風景写真



会見室


特別応接室

第4回福岡アートアワード

福岡アートアワードは、福岡市美術館が、Fukuoka Art Nextの一環として実施する事業で、福岡市内で活動をおこない、今後の飛躍が期待できるアーティスト（美術作家）を対象に、作品の買い上げをもって贈賞する。贈賞によりアーティストを支援し、買い上げ作品は福岡市美術館の所蔵品として展示活用される。これにより、福岡市にアーティストが集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会が増え、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指す。本年度は市長賞1名、優秀賞3名の計4名が受賞した。

選考過程

第1次選考委員会　令和7年10月24日（金）
第2次選考委員会　令和7年11月21日（金）

選考委員

水沢勉（美術史家・美術評論家）
植松由佳（国立国際美術館　学芸課長）
堀川理沙（ナショナル・ギャラリー・シンガポール、
キュレートリアル&コレクションズ　ディレクター）

受賞作家・作品

■市長賞
宮本華子《在る家の日常》2024年


宮本華子《在る家の日常》2024年

■優秀賞
谷澤紗和子《お喋りの効能》2025年
川辺ナホ《樂園を探して（-Et in Arcadia Ego）》2024年
平野薫《空の衣服（untitled -war kimono-）》2025年







（左から順に）谷澤紗和子《お喋りの効能》2025年、川辺ナホ《樂園を探して（-Et in Arcadia Ego）》2024年、
平野薫《空の衣服（untitled -war kimono-）》2025年

関連イベント

■第4回福岡アートアワード授賞式
日時　令和8年3月28日（土）13：00～13：30
会場　近現代美術室B前ロビー
■第4回福岡アートアワード受賞作品展
日時　令和8年3月28日（土）～6月21日（日）
会場　近現代美術室B
■第4回福岡アートアワード受賞作家ギャラリートーク
会期　令和8年3月28日（土）14：00～15：00
会場　近現代美術室B

特別企画展

珠玉の近代絵画―「南国」を描く。



B2ポスター（デザイン：眞崎さおり）




会場風景

会　　期　令和7年10月11日（土）～11月24日（月・休）
会　　場　特別展示室
内　　容　日本列島の南に位置する福岡は、地理的、歴史的にもアジアとの往来により都市が形成されてきた。本展は、その特色を踏まえ、福岡らしい企画として実施したもので、東西（日本と西洋）で語られることの多い近代日本の美術を、「南」という視座から捉えた。それにより、近代日本の美術の別の一面が立ち現われ、この領域に新しい景色が広がることを期待した。日本人の海洋の南への関心は、古代までさかのぼるが、江戸時代までの南に対する認識は、限られた人だけがわずかな情報から得た多分に想像の入り混じるものだった。その認識を大きく変えたのが近代であり、とくに明治後期以降、人々は実際に海を渡って南を目指した。西欧ほど遠くない南の地との往来は、距離の上でも経費の上でも現実的であったと思われる。この南の範囲は、「南進」という考え方が浸透するにつれ、沖縄から台湾、東南アジアや南洋諸島、インド方面へと広がり、国家レベルでは帝国としての領土拡張が志向され、民間レベルでは自由な貿易、成功を夢見る移住が試みられた。多くの美術家もまた、公的な要請や私的な目的で南へ向かっており、偏った知識や想像の中にあった南はあらためて発見され表現された。それらの作品は、しばしば日本人の想い描く「南国」イメージに添うものであり、中には帝国主義やオリエンタリズムの眼差しが垣間見られるものもあるが、そうした時代の限界を超えて、美術家たちは新しいテーマに取り組み、高い造形性を追求した。そうした時代と表現の諸相を紹介するため、本展は三章構成にプロローグとエピローグを設けて構成した（プロローグうちなる「南国」、Ⅰ「新地」にて―近代の夢と現実のはざまで、Ⅱ南へ―「自分探し」の旅、Ⅲ悠久の故郷―インドに魅せられた画家、エピローグ戦後、ふたたび南へ）。
出品点数　60作家227点
主　　催　福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
特別協力　東京国立近代美術館
観 覧 料　一般1,500円、高大生1,000円、中学生以下無料
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名 および特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数　45日間
観覧者数　11,146人
印 刷 物　【ポスター】B2　【チラシ】A4　【図録】B5・232頁

展覧会担当：ラワンチャイクン寿子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
［1回目］10月25日（土） ［2回目］11月8日（土）	絵で見る南国の植物	13:30～14:30	講師：二又徳子（福岡市植物園） ラワンチャイクン寿子（展覧会担当学芸員） 参加者：［1回目］26人　［2回目］48人	特別展示室
［1回目］10月18日（土） ［2回目］11月8日（土）	つきなみ講座 「展覧会の見どころ紹介」	［1回目］15:00～16:30 ［2回目］11:00～12:00	講師：［1回目］ラワンチャイクン寿子 ［2回目］花田珠可子 参加者：［1回目］48人　［2回目］39人	1階レクチャールーム
9月2日（火）～12月21日（日）	関連企画展示：「北」へのまなざし			2階コレクション展示室 （近現代美術室A）
10月28日（火）～ 令和8年1月18日（日）	関連企画展示：異国へのまなざし			1階コレクション展示室 （松永記念館室）

ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト　―掘り起こせ、三千年の謎―



B2ポスター






会場風景

会　　期　令和7年12月13日（土）～令和8年3月8日（日）
会　　場　特別展示室
内　　容　1895年にニューヨークのブルックリン地区に開館したブルックリン博物館は、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、オセアニアなど世界各地の美術を収蔵・展示し、米国でも有数の歴史と規模を誇るミュージアムとして知られる。なかでも古代エジプト部門は有名で、国家成立（紀元前3100年頃～）以前の先王朝時代時代から三千年以上の時代にわたる膨大な古代エジプト美術コレクションを誇る。本展はそれらの中から選ばれた約150点の作品で構成し、エジプト考古学者・河江肖剰氏（名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター教授）の監修により、古代エジプト文明が秘める様々な謎に迫るものであった。
展示構成は全三章にて、彫刻、棺、宝飾品、土器、パピルス、人間やネコのミイラなどを展観し、エジプト学における最新の研究成果もふまえて紹介した。福岡市美術館で古代エジプト美術の特別展が開催されるのは13年ぶりのことであった。
出品点数　約150点
主　　催　ブルックリン博物館、特別展 古代エジプト 福岡実行委員会（福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、FBS福岡放送、東映）
特別協賛　大和ハウス工業
協　　賛　DNP大日本印刷
協　　力　名古屋大学、日本航空、一般社団法人Platoo、ヤマト運輸、World Scan Project
企画協力　朝日新聞社、日本テレビ放送網
観 覧 料　一般：2,000円（1,800円）/高大生：1,500円（1,300円）/小中生：1,000円（800円）
※価格は税込
※（　）内は、前売り、20名以上の団体料金
※学生の方は入場の際、学生証等をご提示ください。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、障害者手帳アプリ「ミライロID」の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
※未就学児無料（ただし、保護者同伴）
開催日数　67日
観覧者数　78,845人
印 刷 物　【チラシ】A4
【ポスター】B1、B2、B3
【図録】B5・248頁

展覧会担当：後藤恒

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
[1回目] 12月12日（土） [2回目] 12月13日（日）	河江肖剰 ギャラリーツアー 内覧会・鑑賞会	18：00～ 20：00	講師：河江肖剰（名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター教授） 参加者： [1回目]51人[2回目]47人	特別展示室

公募展

第57回（令和7年度）福岡市美術展



B2ポスター


福岡市美術展大賞「天目鉢」石田　朝太郎

会　　期　令和8年3月24日（火）～3月29日（日）
会　　場　特別展示室　ギャラリー（全室）
内　　容　福岡市美術展は、美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。全7部門に589人（685点）より応募があり、72人（72点）が入賞、345人（347点）が入選となった。

出品及び展示状況

区分		日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品（応募）人数		26	156	20	36	168	124	59	589
出品（応募）点数		29	193	22	44	172	163	62	685
展示点数	入賞	3	20	3	5	18	17	6	72
	入選	16	97	14	22	83	82	33	347
	招待	2	0	0	1	1	1	1	6
	審査員	3	5	4	4	5	4	2	27
	計	24	122	21	32	107	104	42	452

入　賞　者　（1）福岡市美術展大賞1名（工芸）賞金20万円
（2）福岡市長賞7名（各部門1名）賞金各10万円
（3）福岡市議会議長賞2名（書・デザイン）、福岡市教育委員会賞1名（日本画）、福岡県美術協会賞1名（写真）、福岡市美術連盟賞1名（洋画）、福岡文化連盟賞1名（工芸）、福岡市文化芸術振興財団賞1名（デザイン）、西日本新聞社賞3名（洋画・書・写真）賞金各3万円、福岡市美術連盟創立30周年記念特別賞7名（各部門1名）賞金各1万円
（4）福岡県美術協会奨励賞2名（洋画・彫刻）、福岡市美術連盟奨励賞2名（書・デザイン）
（5）奨励賞43名（洋画部門15名・工芸部門1名・書部門13名・写真部門13名・デザイン部門1名）
主　　催　福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
後　　援　公益社団法人福岡県美術協会、福岡文化連盟、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟
観 覧 料　一般600円、高大生400円、中学生以下無料
開催日数　6日間
観覧者数　4,884人
印 刷 物　【ポスター】B2
【チラシ】A4
【開催要項】A3二つ折り
【図録】A4変形・50頁

関連イベント

日	イベント名	時間	会場
3月6日（金）	入選者発表	—	1階ロビー
3月28日（土）	表彰式	13:00～14:00	ミュージアムホール
3月28日（土）	ギャラリートーク（大賞部門のみ）	11:00～11:30	展示室

コレクション展

近現代美術室A

■新収蔵品展

令和7年3月25日（火）～6月1日（日）



令和6年度に近現代美術および古美術の分野で新しく収蔵した10作家25点の作品を紹介した。
出品作家：高橋渡、多々羅義雄、川俣正、尾花成春、大浦こころ、貝島福通、田中千智、寺田健人、KYNE、松永安左エ門ほか
展覧会担当：忠

■コレクションハイライト1　作品と語ろう

令和7年6月12日（木）～令和8年6月21日（日）



飯山由貴《作品の前で語られた、いくつかの会話：福岡市美術館》に着想を得て、「語り合い」をテーマにコレクションから11点を選定した。来館者と作品の対話を促し、作品同士の響き合いや対照性が感じられるよう作品をグループ分けし、空間デザインを行った。ピクトグラムや問いかけの言葉を用いて親しみやすい環境を整え、感想や反応を書き残せるコーナーも設置した。作品を起点とした多様な対話が生まれる場として好評を得た。
展覧会担当：忠

■懐かしの風景 ―ニッポンの夏―

令和7年6月12日（木）～8月31日（日）



大正から昭和初期にかけて、日本の夏には、団扇や提灯、花火や蛍狩りなど、昔ながらの風物詩があった。また同時期は女性たちが社会に進出しはじめた時代であり、迫りくる戦争の足音のなかでも日本人が近代化を謳歌したモダンな時代でもあった。
本展では、和装と洋装の女性たちが象徴するように、伝統と近代が交錯した時代の、懐かしくも典型的な日本の夏を描いた18点（日本画、版画、油彩画）を紹介した。
なお、石田耕古の《大和風景》は、1934年の帝展に入選した作品で、福岡市民会館が開館した1963年から2025年3月に閉館するまでの62年間、そのロビーを飾っていたものだが、今後は当館の所蔵品として公開することになった作品である。
展覧会担当：ラワンチャイクン

■「北」へのまなざし

令和7年9月2日（火）～12月21日（日）



日本が、1910年に朝鮮半島を併合し（韓国併合）、1932年に中国東北部「満洲」（以下、満洲）を実効支配するようになると、多くの日本人がこれらの新天地とその周辺地域に移住したり旅行したりした。本展で紹介した冨田溪仙や吉田博などは、写生旅行で中国大陸や朝鮮半島を訪れた作家である。一方、甲斐巳八郎のように満洲に定住し、そこで「満洲美術」を創出することを覚悟した画家もいた。さらに矢崎千代二の場合は晩年を満洲で生活し、戦後も帰国せずに北京で亡くなっている。
ここでは、日本とは異なる北の風景、風俗、人情に興味の眼差しを送った作家たちが、詳細な観察をもとに写実的に描いた作品や、旅の経験をヒントに想像を加えて創作した作品を、福岡アジア美術館所蔵の5点と当館所蔵の20点、合計25点（日本画、版画、パステル画、油彩画、彫刻）により紹介した。
展覧会担当：ラワンチャイクン

■美術館でお花見を!

令和7年12月23日（火）～令和8年3月22日（日）



古来、四季のうつろいに「もののあはれ」を感じ、和歌や俳句を詠んできた日本では、多くの人びとが、春には花見を秋には紅葉狩りを愉しみ、心をなぐさめてきた。
明治以降の近代になると、山野に咲きみだれる花を愛でるだけでなく、花咲く庭園に遊び、モダンな室内を飾る花瓶の花を観賞するようになる。このコーナーでは、春から秋の草花の作品25点（日本画、油彩画、水彩画、スケッチ、陶磁器）を、山野の花、庭園の花、花瓶の花に分けて展示した。
展覧会担当：ラワンチャイクン

近現代美術室B

■第3回福岡アートアワード展

令和7年3月29日(土)～6月1日(日)

詳細は福岡アートアワード(p.6)を参照。「第3回福岡アートアワード」の受賞作家・作品を紹介した。

出品作家：牛島智子(市長賞)、オーギカナエ(優秀賞)、SECOND PLANET(優秀賞)、興梠優護(優秀賞)

展覧会担当：忠



牛島智子《家婦》2020年

■飛躍のためのドローイング

令和7年6月12日(木)～8月31日(日)



クリスト&ジャンヌ=クロード、草間彌生、高松次郎、戸谷成雄、豊福知徳、柳幸典、川俣正の素描や作品の構想段階のドローイングと、その後の作品に関する資料を紹介し、完成作の前段階でありながらも、作家の創造の過程が露わになるものであるドローイングの魅力を紹介した。

展覧会担当：忠

■菊畑茂久馬展

令和7年9月2日(火)～11月3日(日)



菊畑茂久馬《天動説 五》1983年

九州を代表する画家、菊畑茂久馬の没後5周年企画である「LINKS―菊畑茂久馬」と関連した展示。1965年のアメリカでの展示以後所在不明だった福岡県立美術館所蔵《ルーレット(ターゲット)》と、当館所蔵《ルーレットNo.1》《ルーレット》が並ぶ機会となった。さらに、菊畑が九州派を脱退後、沈黙の期間を経て1970年代に発表した《天動説》シリーズのうち《天動説 五》や、そこに至るまでの版画、《天動説》シリーズ以後制作した絵画作品も併せて展示し、菊畑の画業を概観した。

展覧会担当：花田

■奈良原一高　「消滅した時間」

令和7年11月5日(水)～12月21日(日)



奈良原一高《二つのごみ罐ーニュー・メキシコ、1972》撮影1972年、プリント1975年

福岡県大牟田市出身の奈良原一高(1931-2020)は、1956年に個展「人間の土地」を開催して注目を集め、自身の人間観を探求する作品を発表し続けた、戦後を代表する写真家である。第4弾となる本展は、1970年から1974年の4年間にわたるアメリカ滞在の成果をまとめたシリーズ「消滅した時間」から45点を撮影地域と年代ごとに紹介した。

展覧会担当：花田

近現代美術室C

■コレクションハイライト2　4つの視点

令和7年6月12日(木)～令和8年6月28日(日)

福岡市美術館が収集してきた近現代美術コレクションを4つのテーマに分けて紹介した。1979年の開館以来収集してきた作品・資料の点数は16,000点を超える。近年は若手アーティストの支援にも注力し、新作の収蔵も継続している。作品の造形の特徴や主題を手掛かりとした能動的な作品鑑賞を促すため、①広がる絵画の地平②移動、ひらめき③仮想の風景を眺める④想像の翼というテーマを設定し、36点を展示した。

展覧会担当：忠



東光院仏教美術室

■東光院のみほとけ

通期



薬王密寺東光院（福岡市博多区吉塚）から寄贈された、重要文化財を含む仏像を展示。薬師如来立像、二組の十二神将立像など、重要文化財25躯をはじめとする木彫仏を、4ヶ月に一度展示替えをしながら公開した。
展覧会担当：宮田、後藤

古美術企画展示室

■華やぐ家具調度

令和7年3月19日（水）～4月20日（日）

中国・朝鮮・琉球の漆工芸、芝山象嵌の屏風など、福岡市美術館が所蔵する華やかな家具調度の作品17件を展示した。
展覧会担当：後藤



《華角張四層箪笥》朝鮮王朝時代 19世紀

■桜花爛漫

令和7年3月19日（水）～4月20日（日）

冨田溪仙の大作《御室の桜》を公開。それに合わせて、桜をモチーフとした絵画、陶磁、染織、漆器等の古美術作品をあわせ計12件を展示した。
展覧会担当：後藤



■九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼

令和7年4月23日（水）～6月22日（日）

唐津、高取、上野、八代、薩摩、現川といった九州各地の古陶器を網羅する田中丸コレクション。それぞれの代表的作品からなる53件を展示した。
展覧会担当：久保山炎（（一財）田中丸コレクション学芸員）、後藤



高取焼《藁灰釉緑釉菱口水指 銘「若葉雨」》
桃山時代 17世紀　田中丸コレクション

■夏休みこども美術館2025「みる見る きこえる 音楽会」

令和7年6月25日（水）～8月24日（日）

本展では、テーマを「音楽」とし、当館所蔵の古美術作品と近現代美術を織り交ぜて「奏でる　楽器」「舞・ダンス」「音楽の色・形」の3つの章に分けて紹介した。目には見えない音を多様な方法で表現できる面白さや音楽を想像しながら美術作品を鑑賞する楽しさを感じられるような内容とした。展示室には、ワークシートを設置し、作品を観て気づいたことや発見したことを描けるようにした。
展覧会担当：冨坂

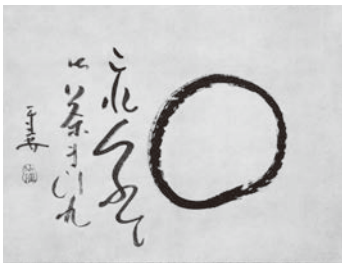


板谷房《動物のための宴》1969年

■仙厓展

令和7年8月26日（火）～10月19日（日）

博多・聖福寺の住職を務めた禅僧・仙厓義梵の書画36点を展示し、仙厓の画業を通覧した。あわせて仙厓が親しみやすい画風を獲得するための思索の過程をたどることができるような内容とした。
展覧会担当：宮田



仙厓義梵《円相図》江戸時代 19世紀

■大名の美術

令和7年10月21日（火）～12月14日（日）

福岡市美術館に収蔵される黒田資料、松永コレクション、一般購入資料の中から、小堀遠州をはじめとする大名茶人たちにまつわる美術品に焦点を当て、42件を展示した。

展覧会担当：後藤



《唐物茶入 銘「博多文琳」》明時代 15～16世紀

松永記念館室

■春の名品展

令和7年3月25日（火）～6月1日（日）

松永耳庵が春に用いた茶道具を中心に、春にふさわしい名品20点を松永コレクションから精選して紹介した。

展覧会担当：宮田



伝・銭選《牡丹図》元時代 14世紀

■松永耳庵　夏の茶事

令和7年6月3日（火）～8月17日（日）

松永耳庵が初夏から晩夏にかけて催した茶事の道具組を、仰木政斎『雲中庵茶会記』等に残る記述に基づいて、18件の現存作品より再現的に展示した。

展覧会担当：後藤



《絵高麗梅鉢茶碗》明時代 16～17世紀

■秋の名品展

令和7年8月19日（火）～10月26日（日）

尾形乾山の名作《花籠図》（重要文化財）をはじめ、秋の情趣に相応しい名品20点を松永コレクションから精選して紹介した。

展覧会担当：宮田



本阿弥光悦書、俵屋宗達下絵《和歌巻切》江戸時代 17世紀

■異国へのまなざし

令和7年10月28日（火）～令和8年1月18日（日）

特別展「『南国』を描く。」の関連企画として開催する本展では、異国からもたらされた作品やその影響を受けて作られた作品、そして、異国を主題にした作品20点を通して、江戸時代以前の日本の人びとが異国へ向けたまなざしをうかがった。

展覧会担当：宮田



《蔓葉文水指》オランダ 17世紀

■古代エジプトの染織―コプト裂―

令和8年1月20日（火）～3月22日（日）

特別展「古代エジプト　掘り起こせ、三千年の謎」に合わせて、松永コレクションに含まれる古代エジプトの織物・コプト裂を中心に23件を展示した。

展覧会担当：後藤



《コプト裂 諸神文綴織裂》エジプト 7～8世紀

企画展

一杉コレクション展―魅惑のインドネシア染織―



B2ポスター

会　　期　令和7年12月17日(水)～令和8年3月15日(日)
会　　場　古美術企画展示室
内　　容　インドネシアは、多彩な伝統染織の宝庫として知られている。ジャワ島のバティックやスマトラ島の緯縞などインドネシアの染織は、古くから日本で親しまれ、珍重されてきた。日本にとってもなじみ深い、インドネシアの染織品を、このたび東京在住の一杉秀樹様より、85点を選りすぐってご寄贈いただいた。
コレクションは西端のスマトラ島から、東に向かって、ジャワ島、バリ島、ヌサトゥンガラ諸島のうち、ロンボク島、フローレス島、レンバタ(ロンブレン)島、アロール島、ティモール島、そしてスラウェシ島の9つの島の染織品から成り立っている。なかでも、スマトラ島の染織と、多彩な文様が見られるジャワ島のバティックはその過半数を占め、今回のご寄贈の柱となっている。
本展では、これら一杉コレクション85点に、他の館蔵品や個人蔵作品を加えた88点を通して、インドネシアの染織の広がりと、ジャワ島のバティックのバラエティ、スマトラ島の染織の多様さを紹介した。
出品点数　88点(期間中大幅な展示替えあり)
主　　催　福岡市美術館
観覧料　コレクション展示観覧料
開催日数　88日間
観覧者数　77,780人(会期中のコレクション展観覧者数)
印刷物　【ポスター】B2
【チラシ】A4
【図録】B5・104頁

展覧会担当：岩永悦子



会場風景

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月17日(土)	つきなみ講座「インドネシアの染織　一杉コレクションの名品について」	15:00～16:00	講師：岩永悦子　　参加者：84人	レクチャールーム

浦川大志個展　スプリット・アイランド



A4チラシ（デザイン：八木幣二郎）

会　　期　令和8年1月6日（火）～令和8年3月22日（日）
会　　場　近現代美術室B
内　　容　福岡県宗像市出身の作家・浦川大志（1994–）は、高校在学中から作家活動を行い、国内各地でコミッションワークや展示を行ってきた。お絵かきソフトの操作感や液晶画面を想起させる描線やグラデーションを特徴とする絵画には、デジタルネイティブ世代特有の感覚と、手作業としての絵画への関心が共存する。検索エンジンに表示される画像、日常風景、土地の記憶など、異なる時間や文脈をもつイメージを重ね合わせることで、インターネット以後の世界における「風景を見る」体験のリアリティを探る点に特徴がある。浦川にとって美術館での初個展である本展では、過去作や近年の代表作および新作84点を出品した。精力的な活動の軌跡がかいま見える作品とともに、会場後半では新たな技法・テーマを扱った新作を紹介し、若手作家としての現在地も示した。また、会場内には作家自身による解説パネルを設置し、浦川が九州派等の福岡ゆかりの作家に強い影響を受けたことについての紹介を行った。これらを通し「アーティストを育てる土壌としての福岡」を浮き彫りにすることになった。
出品点数　84点
主　　催　福岡市美術館
観 覧 料　コレクション展示観覧料
開催日数　65日
観覧者数　72,949人（会期中のコレクション展観覧者数）
印 刷 物　【ポスター】B2
　　【チラシ】A4
　　【図録】A4変形・96頁

展覧会担当：忠あゆみ







会場風景（撮影：竹久直樹）

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
令和8年1月6日（火）～2月27日（金）	公開制作（p.16参照）			
令和8年2月7日（土）	作家によるギャラリートーク	14:00～15:00	講師：浦川大志（作家） 参加者：約120人	展示室
令和8年2月21日（土）	担当学芸員によるギャラリートーク	14:00～15:00	講師：忠あゆみ　参加者：約50人	展示室

浦川大志《スプリット・アイランド》

会　　期　令和8年1月6日（火）～令和10年12月末（予定）
内　　容　福岡県出身の作家・浦川大志が、企画展「浦川大志個展　スプリット・アイランド」（令和8年1月6日～3月22日）に際して制作したもの。福岡の歴史や場所を思わせる色・形が描かれた39枚の木製パネルをモザイクのように組み合わせ、高さ3×幅13mの壁面を構成している。組み換えられ変化していく可能性を秘めた構造とすることで、雑多さ・複雑さを特徴とする「福岡の風景」を表現している。令和10年12月末までの3年間にわたり展示予定。



全体図



部分図
（撮影：竹久直樹）

展覧会関連記事

令和7年4月1日～令和8年3月31日の展覧会・美術館事業に関連する主要な新聞・雑誌・WEB媒体記事をまとめた。
※カッコ内は執筆者名。表記・肩書は元記事のままとした。

特別企画展

珠玉の近代絵画―「南国」を描く。		
美術展ナビ（https://artexhibition.jp/topics/news/20250904-AEJ2731942/）	R7.9.21	九州プレビュー／特別展「珠玉の近代絵画―「南国」を描く。」福岡市美術館で10月11日から　約200点が登場　近代の画家たちを魅了した南国の姿とは（齋藤久嗣）
西日本新聞（朝刊）	R7.10.3	「南国」描いた名画並ぶ　11日から「珠玉の近代絵画『南国』を描く。」　福岡市美術館　藤田嗣治らの225件（山上武雄）
ARTNE（https://artne.jp/news/2259）	R7.10.12	なぜ、画家は「南」に憧れたのか?展覧会『珠玉の近代絵画―「南国」を描く。』10月11日から福岡市美術館で開幕（アルトネ編集部）
西日本新聞（朝刊）	R7.10.17	日本画家と南国　福岡市美術館特別展より〈上〉天と対話できる土地（ラワンチャイクン寿子）
西日本新聞（朝刊）	R7.10.24	日本画家と南国　福岡市美術館特別展より〈中〉花鳥に熱帯の生命力（花田珠可子）
天神経済新聞（https://tenjin.keizai.biz/headline/8240/）	R7.10.27	福岡市美術館で「南国」描いた近代絵画展　日本の美術家の作品200点展示
西日本新聞（朝刊）	R7.10.31	日本画家と南国　福岡市美術館特別展より〈下〉島で見た労働の現実（忠あゆみ）
西日本新聞me（https://www.nishinippon.co.jp/item/1416218/）	R7.11.1	「南国」は刺激的だった!　珠玉の近代絵画展に行ってみた【ガクミカ取材班】 福岡市美術館　11月24日まで
wa vol.97（福岡市文化芸術振興財団）	R7.11.1	おしゃべりな学芸員／特別展ができるまで（花田珠可子）
NHK	R7.11.2	日曜美術館アートシーン
西日本新聞（朝刊）	R7.11.5	大観らの名作ずらり　24日まで福岡市美術館　南国をテーマ（山上武雄）

古代エジプト展		
西日本新聞（朝刊）	R7.11.28	古代エジプトの謎に迫る　来月13日から特別展　福岡市美術館　ミイラなど遺物150点（鶴智雄）
西日本新聞（朝刊） ※ARTNEにも掲載	R7.12.6	福岡市美術館　特別展　エジプトに吹く新風〈上〉橋をかける　文明生んだ「人間」に注目　エジプト考古学者の河江肖剰さん（佐々木直樹）
西日本新聞（夕刊）	R7.12.10	特別展　古代エジプト　文明の謎に迫る
朝日新聞（朝刊）	R7.12.13	古代エジプトどんな生活?　福岡市美術館で特別展（根元紀理子）
西日本新聞（朝刊）	R7.12.13	きょうから古代エジプト展
ARTNE（https://artne.jp/news/2325）	R7.12.13	ブルックリン博物館が誇る古代エジプトコレクション約150点が福岡市美術館に集結! エジプト考古学者・河江肖剰が掘り起こす3千年の謎（アルトネ編集部）
西日本新聞（朝刊） ※ARTNEにも掲載	R7.12.20	福岡市美術館　特別展　エジプトに吹く新風〈中〉二刀流　「音楽」から奏でる新解釈　福岡女学院大常勤講師の野中亜紀さん（佐々木直樹）
西日本新聞（朝刊）	R8.1.4	2026年本社の主な事業／ブルックリン博物館所蔵　特別展「古代エジプト」　えりすぐりの品々
朝日新聞（朝刊）	R8.1.7	朝日新聞社のイベント情報／ブルックリン博物館所蔵　特別展「古代エジプト」　ピラミッド　尽きぬ謎に迫る
西日本新聞（朝刊） ※ARTNEにも掲載	R8.1.8	もっと九州／福岡市美術館で3月8日まで特別展　古代エジプト　暮らしの息吹　調理、美容、葬送…多様な150点（文・佐々木直樹、写真・佐藤桂一）
西日本新聞（朝刊）	R8.1.13	こどもタイムズ／古代エジプト　謎に迫る　彫刻、棺、カプノス壺、ミイラ…“ホンモノ”が福岡に集結
西日本新聞（朝刊）	R8.1.17	福岡市美術館　特別展　エジプトに吹く新風〈下〉失われた古代の「声」探る　歴史言語学者の宮川創さん（佐々木直樹）
西日本新聞me（https://www.nishinippon.co.jp/item/1445737/）	R8.1.24	未来を意識して今を生きる!　「特別展　古代エジプト」で学んだこと【ガクミカ取材班】 福岡市美術館　3月8日まで
朝日新聞（朝刊）	R8.1.29	ブルックリン博物館所蔵　特別展古代エジプト　王の頭部（高橋友桂理）
ARTNE（https://artne.jp/news/2372）	R8.2.20	福岡市美術館　特別展「古代エジプト」祝!5万人突破!

企画展

浦川大志個展　スプリット・アイランド		
ARTNE（https://artne.jp/news/2378）	R8.3.5	浦川大志、福岡市美術館の巨大壁画完成! 同美術館の個展は3月22日まで。アートスペースIAF SHOP*で、銅版画のグループ展も同時期開催!（アルトネ編集部）
毎日新聞（朝刊）	R8.3.6	浦川大志　大規模個展　「スプリット・アイランド」（福岡市美術館）　虚構と現実の幻惑空間（渡辺亮一）
西日本新聞（朝刊） ※ARTNEにも掲載	R8.3.11	人物　現在形／九州派受け継ぐ　現代の「風景画」　個展「スプリット・アイランド」を開催　画家　浦川大志さん（川口安子）
読売新聞	R8.3.14	時代の風景　福岡の壁画に（北川洋平）
美術手帖（https://bijutsutecho.com/magazine/news/report/32286）	R8.4.15	「浦川大志個展　スプリット・アイランド」（福岡市美術館）会場レポート。福岡の美術史を引き継ぐ「風景」が生まれるまで（安原真広）

コレクション展

新収蔵品展		
西日本新聞（朝刊）	R7.5.20	福岡市美術館で新収蔵品展　異なる時代、ジャンルの25作品（内藤梨花、波多野澪）

第3回福岡アートアワード受賞作品展		
西日本新聞（朝刊）	R7.5.21	「福岡アートアワード」受賞作品展　来月1日まで　福岡市美術館（原口桜子、小田瑞穂）
ART iT（https://www.art-it.asia/top/admin_ed_news/266465/）	R7.3.27	第3回福岡アートアワード

コレクションハイライト		
ほぼ日（https://www.1101.com/n/s/josetu/fukuoka）	R8.3.31〜4.6	常設展へ行こう!　018　福岡市美術館篇（奥野武範）

夏休みこども美術館　みる見る きこえる 音楽会		
wa vol.87（福岡市文化芸術振興財団発行）	R7.7.1	おしゃべりな学芸員／夏休みこども美術館2025　みる見る きこえる 音楽会（冨坂綾子）
天神経済新聞（https://tenjin.keizai.biz/headline/8173/）	R7.7.14	福岡市美術館で「夏休みこども美術館」　今年は音楽をテーマに22作品展示

菊畑茂久馬展		
ART iT（https://www.art-it.asia/top/admin_ed_pics/275179/）	R7.9.1	コレクション展「菊畑茂久馬展」@ 福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	R7.10.22	福岡市の画家・菊畑茂久馬さん　没後5年　リレーで「菊畑茂久馬」展　福岡市美術館など全国19施設 次世代へつなぐ再評価が始動（川口安子）

公募展

西日本新聞（朝刊）	R8.3.13	「福岡市美術展入賞者紹介　上」
西日本新聞（朝刊）	R8.3.14	「福岡市美術展入賞者紹介　下」

その他美術館事業

西日本新聞（朝刊）	R7.11.13	コレクション展　観覧者400万人に　福岡市美術館（相良誠）
読売新聞（朝刊）	R7.11.15	画家・田中千智さん　幻想と現実　壁画に願い（北川洋平）
読売新聞（朝刊）	R7.11.17	建築や夜景　味わう芸術（堀美緒）
西日本新聞（朝刊）	R7.12.2	市民が育てる「未完」の建築　設計の福岡市美術館で弟子・橋本功さん語る（川口安子）
ARTNE（https://artne.jp/news/2319）	R7.12.11	田中千智《生きている壁画》　福岡市美術館でとうとう見納め 12月27日まで。 漆黒の背景に浮かび上がる光宿る壁画世界を目に焼き付けて（アルトネ編集部）

どこでも美術館

当館のアウトリーチ活動として平成28年度より開始した教育普及事業。館外で作品鑑賞や美術体験ができる、当館オリジナルの持ち出し式の教材（ボックス）を使用したプログラムを実施。本教材は、学校等への貸出も行っている。

1　どこでも美術館ティーチャーズ・プラス

学校での美術鑑賞授業などに活用してもらうため、ボックスの貸出を行っている。

対象：主に市内の小・中・高校・特別支援学校
貸出ボックス：
絵画①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製
　②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》複製
　③尾形乾山《花籠図》
やきもの
染め・織りもの
素材と技法①油彩画②日本画③彫刻素材④螺鈿⑤版画



染め・織りもの

貸出校　市外幼稚園1件、市内幼稚園1件、小学校2件、高校2件（同一学校は合わせて1件）、大学1件　計7件643人

	貸出校	学年	貸出ボックス	利用日	利用人数（人）
令和7年	福岡県立博多青松高等学校	2	絵画①	4月18日（金）	20
	福岡海星女子学院高等学校	2	絵画① 素材と技法①	5月14日（水）	10
	福岡教育大学	1～4	素材と技法④	7月4日（金）	25
	福岡海星女子学院高等学校	2	絵画② 素材と技法②	9月8日（月）	10
	福岡市立弥永西小学校	1	絵画①	11月5日（水）	70
	福岡教育大学付属幼稚園	年長	素材と技法⑤	12月9日（火）	15
	福岡市立南唐仁小学校	6	絵画② 素材と技法②	12月17日（水）	134
令和8年	養巴幼稚園	年長	絵画①	1月21日（水）	49
	福岡市立南唐仁小学校	3,4	素材と技法⑤	2月12日（木）	310

企画担当：冨坂綾子

2　どこでも美術館アウトリーチ

当館の学芸員が館外へ出向き、ボックスを活用した美術鑑賞・体験プログラムを行っている。

対象：市内の院内学級、特別支援学校、離島および公共交通機関で来にくい地域の小中学校、公民館等の高齢者向け活動など。
プログラム内容：
絵画・彫刻①油彩画　マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》
（コラージュ/油彩画）
②日本画　長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》
③彫刻　藤浩志《ヤセ犬》
やきもの
染め・織りもの
素材と技法①螺鈿
②版画



公民館での活動の様子（絵画②）

実施校・施設　市内学校8件（同一学校は合わせて1件）、公民館等8件　計16件　594人

	実施日	実施校・施設	学年	参加人数（人）	利用ボックス
令和7年	6月2日（月）	福岡市立福岡中央特別支援学校　中学部	1～3年	87	絵画・彫刻③
	6月13日（金）	福岡市立若久特別支援学校中学部	2年	25	絵画・彫刻③
	6月18日（水）	那珂南公民館		32	やきもの
	7月3日（木）	西花畑公民館		36	素材と技法①
	7月7日（月）	福岡市立特別支援学校清水高等学園	3年	41	絵画・彫刻①（油彩画）
	7月8日（火）	福岡市立特別支援学校博多高等学園	1年	47	絵画・彫刻①（油彩画）
	7月11日（金）	九州大学病院院内学級（福岡市立千代小学校）	1～6年	8	素材と技法①
	7月16日（水）	福岡市立東福岡特別支援学校高等部	3年	39	素材と技法①
	8月28日（木）	福岡市立南福岡特別支援学校高等部	1～3年	69	絵画・彫刻①（油彩画）
	8月29日（金）	福岡市立南福岡特別支援学校中学部	1～3年	54	染め・織りもの
	9月9日（火）	福岡こども病院院内学級（福岡市立照葉小中学校）	小1年～中3年	8	素材と技法①
令和8年	1月14日（水）	舞鶴公民館		14	素材と技法②
	1月28日（水）	原西公民館		27	素材と技法①
	1月29日（木）	南当仁公民館		17	絵画・彫刻②
	2月4日（水）	筥松公民館		21	素材と技法②
	2月19日（木）	別府公民館		49	素材と技法②
	2月20日（金）	飯原公民館		20	やきもの

企画担当：冨坂綾子

スクールツアー

主に市内の小中学校を対象に、児童・生徒が美術に興味を持って美術作品を楽しく鑑賞し、美術館を身近な施設として体験してもらうためのプログラム。当館のギャラリーガイドボランティアが、児童・生徒に向けて、一緒に対話をしながら当館のコレクションを紹介するギャラリーツアーを実施している。

・対話型アート鑑賞事業

福岡市では令和6年度から福岡市立の小学校・特別支援学校（小学部）が校外学習で福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の3館を利用する場合に貸切バス代等の補助を行う「対話型アート鑑賞」事業を行っている。来館校へは当館ボランティアが対話型鑑賞で所蔵作品を紹介するスクールツアーを実施。

「対話型アート鑑賞」事業によるスクールツアー　［対象：福岡市立小学校・特別支援学校（小学部）］

実施数　団体数35件　児童2,384人　引率182人　計2,566人

来館日程		来館校	学年	児童生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年	6月17日（火）	福岡市立弥永小学校	4	53		4	57
	6月18日（水）	福岡市立城浜小学校	4	16		3	19
	6月20日（金）	福岡市立和白小学校	6	105		6	111
	6月25日（水）	福岡市立若宮小学校	3	77		6	83
	6月26日（木）	福岡市立板付小学校	5	115		6	121
	7月1日（火）	福岡市立百道浜小学校	4	87		4	91
	7月3日（木）	福岡市立百道浜小学校特別支援学級	1～6	14		6	20
	7月16日（水）	福岡市立千早西小学校	5	61		4	65
	9月2日（火）	福岡市立生の松原特別支援学校	5	23		8	31
	9月3日（水）	福岡市立内野小学校特別支援学級	1～6	32		8	40
	9月5日（金）	福岡市立壱岐東小学校	5,6	24		3	27
	9月10日（水）	福岡市立堤丘小学校	5	49		5	54
	9月11日（木）	福岡市立曰佐小学校	5	61		4	65
	9月17日（水）	福岡市立塩原小学校	6	133		7	140
	9月24日（水）	福岡市立小呂小中学校	小1年～中3年	11		7	18
	10月2日（木）	福岡市立三筑小学校	5	112		5	117
	10月3日（金）	福岡市立福重小学校	3	57		4	61
	10月17日（金）	福岡市立有田小学校	5	112		6	118
	10月21日（火）	福岡市立原小学校	4	132		5	137
	10月24日（金）	福岡市立有住小学校	3	19		3	22
	11月6日（木）	福岡市立生の松原特別支援学校	3	26		11	37
	11月11日（火）	福岡市立愛宕小学校	6	117		6	123
	11月12日（水）	福岡市立西陵小学校	3	40		3	43
	11月13日（木）	福岡市立生の松原特別支援学校	6	14		7	21
	11月20日（木）	福岡市立田村小学校	6	81		5	86
	11月21日（金）	福岡市立西長住小学校	6	43		3	46
	11月26日（水）	福岡市立草ヶ江小学校	6	148		5	153
	12月9日（火）	福岡市立愛宕小学校	5	122		6	128
	12月10日（水）	福岡市立姪浜小学校	5	44		2	46
令和8年	1月15日（木）	福岡市立草ヶ江小学校	4	147		6	153
	1月16日（金）	福岡市立塩原小学校	3	122		6	128
	1月20日（火）	福岡市立脇山小学校	5	13		2	15
	1月23日（金）	福岡市立玉川小学校	3	137		6	143
	2月5日（木）	福岡市立草ヶ江小学校特別支援学級	1～6	22		8	30
	3月13日（金）	福岡市立能古小学校	5	15		2	17

福岡市立小学校の自由鑑賞　※「対話型アート鑑賞」事業によるツアーを実施せず、自由鑑賞をした。

実施数　団体数8件　児童844人　一般1人　引率50人　計895人

来館日程		来館校	学年	児童生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年	9月18日（木）	福岡市立平尾小学校	2	168		8	176
	11月11日（火）	福岡市立南当仁小学校	6	134		6	140
	11月21日（金）	福岡市立今宿小学校	2	156		7	163
	11月27日（木）	福岡市立室見小学校	2	106		7	113
	11月28日（金）	福岡市立大楠小学校特別支援学級	1～6	9	1	4	14
令和8年	1月15日（木）	福岡市立宮竹小学校特別支援学級	1～6	30		7	37
	1月22日（木）	福岡市立飯原小学校	5	87		6	93
	2月3日（火）	福岡市立草ヶ江小学校	5	154		5	159

その他のスクールツアー（市内小学校・中学校）

実施数　団体数6件　児童・生徒325人　引率30人　計355人

来館日程		来館校	学年	児童生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年	7月4日（金）	福岡大学附属大濠中学校	1	187		9	196
令和8年	1月21日（水）	福岡市立壱岐丘中学校特別支援学級	1,2	4		2	6
	2月4日（水）	福岡市立城西中学校	1～3	11		3	14
	2月7日（土）	福岡市立福岡きぼう中学校	1～3	20		10	30
	3月11日（水）	福岡雙葉小学校	4	60		3	63
	3月17日（火）	福岡雙葉小学校	5	43		3	46

その他の学校団体（小学校・中学校・高校）　※小学校・中学校は市外を、高校は市内外を表記。

実施数　団体数3件　児童・生徒78人　引率14人　計92人

来館日程		来館校	学年	児童生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年	9月26日（金）	北九州市立南小倉中学校	3	4		1	5
	11月19日（水）	宇美町立宇美東小学校	6	40		3	43
	12月19日（金）	福岡市立特別支援学校博多高等学園	1	34		10	44

その他の団体（大学等）

実施数　団体数7件　児童・生徒196人　一般2人　引率8人　計206人

来館日程		団体名	学生（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年	6月12日（木）	メサ・コミュニティカレッジ	17	2	2	21
	6月21日（土）	九州大学　博物館教育論	43		1	44
	7月5日（土）	福岡教育大学　美術入門	61		1	62
	7月23日（水）	日本デザイナー学院　九州校	46		1	47
	11月8日（土）	福岡大学　人文学部フランス語学科	11		1	12
	11月9日（日）	九州大学　教育社会計画課外授業	1		1	2
	12月7日（日）	西南学院大学　博物館教育論	17		1	18

総計　団体数59件　児童・生徒・学生3,827人　一般3人　引率284人　計4,114人

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について話をする「つきなみ講座」。なお、ミュージアムホールや展示室にて開催する回もあったため、開催場所についても記載する。

第1回　古美術の作品修復について

講師：宮田　太樹　　**開催日**：令和7年4月19日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：34人

第2回　九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼

講師：久保山　炎(一般財団法人　田中丸コレクション　学芸員)
開催日：令和7年5月18日(日)15：00〜16：00
場所：ミュージアムホール　　**聴講者数**：58人

第3回　美術館とバリアフリー

講師：高田　瑠美　　**開催日**：令和7年6月21日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：11人

第4回　松永耳庵　遺愛の茶道具

講師：後藤　恒　　**開催日**：令和7年7月19日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：61人

第5回　「みんな」って誰?―対象から考える美術館の教育普及の変遷

講師：﨑田　明香　　**開催日**：令和7年8月23日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：29人

第6回　美術と言語と人工知能

講師：中山　喜一朗　　**開催日**：令和7年9月20日(土)14：30〜16：00
場所：ミュージアムホール　　**聴講者数**：78人

第7回　「珠玉の近代絵画―「南国」を描く。」展の見どころ紹介①

講師：ラワンチャイクン　寿子　　**開催日**：令和7年10月18日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：48人

第8回　「珠玉の近代絵画―「南国」を描く。」展の見どころ紹介②

講師：花田　珠可子　　**開催日**：令和7年11月8日(土)11：00〜12：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：39人

第9回　クーリエのお仕事―サルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》の海外貸出―

講師：渡抜　由季　　**開催日**：令和7年12月20日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：65人

第10回　インドネシアの染織　一杉コレクションの名品について

講師：岩永　悦子　　**開催日**：令和8年1月17日(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：84人

第11回　浦川大志個展ギャラリートーク

講師：忠　あゆみ　　**開催日**：令和8年2月21日(土)14：00〜15：00
場所：2階コレクション展示室内近現代美術室B　　**聴講者数**：50人

第12回　どこでも美術館―特別支援学校での活動事例―

講師：冨坂　綾子　　**開催日**：令和8年3月21(土)15：00〜16：00
場所：レクチャールーム　　**聴講者数**：26人

聴講者数　計583人

福岡ミュージアムウィーク2025

博物館・美術館の社会的役割を広く多くの方に知ってもらうために、ICOM（国際博物館会議）により定められた「国際博物館の日」（5月18日）。これを記念して、福岡市内の博物館・美術館等が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」「知識の場」「発見の場」である博物館・美術館の魅力を味わってもらうことを目的とした事業。令和7年度は16施設が参加し、参加館を巡るスタンプラリーを実施した。また、期間中はコレクション展示室の観覧料を無料とした。

連 携 館：福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、高取焼本家味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館、チームラボフォレスト福岡-SBI証券
期　　間：令和7年5月17日（土）～5月25日（日）

■福岡ミュージアムウィーク2025記念講演会 「鉛・埃・記憶―作品の『保存修復』がめざすもの」

多様な作品の「生」にいかに寄り添い、いかにその延命を図るのか。美術作品の保存修復の技法や理論について、収蔵作品にも触れつつ講演いただいた。

日　　時：令和7年5月17日（土）14:00～16:00
場　　所：福岡市美術館1階　ミュージアムホール
参 加 者：83人
講　　師：田口かおり（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）

■つきなみ講座スペシャル 「九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼」

日　　時：令和7年5月18日（日）15:00～16:00
場　　所：福岡市美術館1階　ミュージアムホール
参 加 者：58人
講　　師：久保山炎（一般財団法人 田中丸コレクション学芸員）
※毎月1回実施する「つきなみ講座」をスペシャルとしてミュージアムウィークの関連企画として実施した。「つきなみ講座」はp.23を参照。

■ボランティアによるギャラリーツアー

当館所蔵作品3点を、参加者と対話をしながら鑑賞するツアー。ギャラリーガイドボランティアが実施。

日　　時：令和7年5月17日（土）～25日（日）11:00～、14:00～（40分程度）※5月19日（月）は除く
参 加 費：無料
参加人数：39人

■初めてのベビーカーツアー

小さな子どもとその保護者を対象に、展示中の所蔵品を鑑賞し、館内をお散歩するツアー。

日　　時：令和7年5月21日（水）、22日（木）10:00～10:40
参 加 費：無料
参加人数：子ども10人　保護者13人

■建築ツアー

前川國男設計の福岡市美術館の建築を鑑賞するツアーを、当館総館長・中山喜一朗の案内で実施した。

日　　時：令和7年5月24日（土）10:30～12:00
参 加 費：無料
参加人数：21人


建築ツアーの様子

企画担当：髙田瑠美

夏休みこども美術館2025

夏休みこども美術館2025「みる見る きこえる 音楽会」

当館で毎夏開催している教育普及事業「夏休みこども美術館」。令和7年度は、音楽をテーマに作品を紹介した。また、展覧会に関連して、3つの関連プログラムを実施した。「夏休みこどもとしょかん」ではこどもギャラリーの展示に関連する図書を展示室で紹介した。

期　　間：令和7年6月25日（水）～8月24日（日）
印 刷 物：チラシ（A4）　ワークシート2種類（A4）

■こどもギャラリー「みる見る きこえる 音楽会」

内　　容：テーマを「音楽」とし、当館所蔵の古美術作品と近現代美術を織り交ぜて「奏でる　楽器」「舞・ダンス」「音楽の色・形」の3つの章に分けて紹介した。目には見えない音を多様な方法で美術表現できる面白さや音楽を想像しながら美術作品を鑑賞する楽しさを感じられるような内容とした。展示室には、ワークシートを設置し、作品を観て気づいたことや想像したことを描けるようにした。
期　　間：令和7年6月25日（水）～8月24日（日）
作品点数：22点
会　　場：古美術企画展示室
中学生以下の入場者数：2660人


こどもギャラリー「みる見る きこえる 音楽会」展示の様子

【関連プログラム】

■描いてみよう!　音楽のせん　いろ　かたち

内　　容：展示室で2つの作品を対話型鑑賞したあとに、音楽を聴きながらイメージした線や形を絵具で大きな紙に描いた。
日　　時：令和7年7月27日（日）13:30～15:30
対　　象：小学生とその保護者
場　　所：福岡市美術館1階アートスタジオ
参加人数：22人

■みてみて　つくって　音楽会

内　　容：午前は、展示中の太鼓と大鼓の胴を見てどんな楽器かグループで話し合い、身の回りの素材を使って自分なりの楽器を制作した。午後は、大濠能楽堂へ行ってお囃子方と交流し、楽器の組み立てを見たり、お囃子の演奏を聞いたりした。また、楽器の演奏体験も行った。
日　　時：令和7年8月3日（日）10:00～15:00
対　　象：小学生～中学生とその保護者
場　　所：福岡市美術館1階　アートスタジオ　大濠公園能楽堂
協　　力：公益社団法人　能楽協会九州支部
参加人数：62人

■ギャラリーツアーforキッズ!

内　　容：当館のギャラリーガイドボランティアと一緒に「みる見る きこえる 音楽会」展を対話をしながら楽しく鑑賞するツアー。
日　　時：令和7年8月19日（火）～24日（日）①10:30～11:10　②13:30～14:10
対　　象：小学生～中学生
参加人数：計53人

「夏休みこどもとしょかん」についてはp.29を参照。

企画担当：冨坂綾子

ファミリーDAY

若い世代の家族に向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の愉しさ、面白さを知ってもらうために、11月3日の開館記念日の前後をファミリーDAYとし、平成25年度より開催している事業。令和7年度はテーマを美術と建築とし、開催期間は開館記念日を含む2日間とした。

日時：令和7年11月2日（日）～3日（月・祝）10:00～15:00
延べ参加人数：2,161人（子ども1,185人、大人976人）
ボランティアスタッフ：館内ボランティア20人　学生ボランティア29人
博物館実習生7人
印刷物：A4チラシ


「美術館のカケラで作ろう!　みんなの もこもこミュージアム」の様子

講師名のないものは、美術館職員が実施した。

■かいとうキッズ　美術館の謎をとけ!

内容：コレクション展を鑑賞して、展示作品に関するクイズに回答していくプログラム。
日時：令和7年11月2日（日）、3日（月・祝）10:00～15:00
場所：（受付）2階ロビー（会場）コレクション展示室
対象：5歳くらい～小・中学生
参加人数：下記参照

■かいとうキッズ　たてものにかくされた記号をさがせ!

内容：美術館の中を歩いて、建物に関するクイズに回答していくプログラム。
日時：令和7年11月2日（日）、3日（月・祝）10:00～15:00
場所：（受付）2階ロビー（会場）コレクション展示室
対象：5歳くらい～小・中学生
参加人数：932人［美術館の謎をとけ!/たてものにかくされた記号をさがせ!の合計］

■きって はって ぬって 作品であそぼう!

内容：美術館の作品のぬりえをしたものに紙でコラージュをし、展示室に作品を見に行くプログラム。
日時：令和7年11月2日（日）、3日（月・祝）10:00～15:00
場所：1階ロビー
対象：3歳くらい～
参加人数：下記参照

■ぬって くみたて たてものキューブ

内容：美術館の建物の特徴が描かれたキューブに色を塗って組み立て、館内を探検するプログラム。
日時：令和7年11月2日（日）、3日（月・祝）10:00～15:00
場所：1階ロビー
対象：5歳くらい～小・中学生
参加人数：855人［きって はって ぬって 作品であそぼう!/ぬって くみたて たてものキューブの合計］

■初めてのベビーカーツアー

内容：小さな子どもとその保護者を対象に、美術作品を見ながら館内をお散歩するツアー。
日時：令和7年11月2日（日）
①9:40～10:20　②10:50～11:30
場所：コレクション展示室など館内各所
対象：1歳半くらいまでの子どもとその保護者（事前申込制）
参加人数：29人

■ミニミニワークショップ

内容：「キッズスペース 森のたね」を制作したアーティスト・オーギカナエ氏制作の種の形をしたボックスから、さまざまな素材を取り出して「森のなかま」を作るワークショップ。
日時：令和7年11月3日（月・祝）10:00～15:00
場所：2階　キッズスペース 森のたね
対象：未就学児とその保護者
参加人数：187人

■美術館のカケラで作ろう!　みんなの もこもこミュージアム

内容：美術館を探検し、アイディアのカケラを集めて、各人がイメージするミュージアムを制作するプログラム。作品は2階ロビーに当日のみ展示した。
日時：令和7年11月2日（日）、3日（月・祝）
①10:30～12:00 ②13:30～15:00
講師：佐土嶋洋佳（アーティスト）
場所：アートスタジオ、1階・2階ロビー
対象：小中学生とその保護者（事前申込制）
参加人数：158人

企画担当：崎田明香

バリアフリーギャラリーツアー

福岡市美術館では、教育普及活動方針として「アートと生きる」を掲げ、その具体的な活動として「アクセシビリティの向上」をうたっている。「多様な背景を持った人が集う場である美術館で、物理的のみならず心理的にもすべての人が安心して学び、過ごせるような空間づくりを目指す」という目的に従い、身体的な障がいをもった人たちもそうでない人々も、親しく、安心して、より日常的に、当館のコレクション展を楽しめるよう、令和2年度よりバリアフリーをうたったギャラリーツアーを実施している。令和7年度は、視覚障がい者・聴覚障がい者・車いす利用者向けのコレクションのギャラリーガイドツアーを行った。



聴覚障がい者のための　おしゃべり鑑賞ツアーの様子

■視覚障がい者のための　おしゃべりとてざわりのツアー

目の見える人、見えない人が一緒になり、グループごとに作品について話し合いながら鑑賞を行った。鑑賞の際には画材などの美術教材や、作品の形状、材質、配置などに関する資料を用意し、作品の前で参加者同士が触れながら鑑賞をすすめた。なお、当館ボランティアが本プログラムをサポートした。

日　　時：令和7年11月29日（土）13:30～15:00
講　　師：石田陽介・濱田庄司・松尾さち（ギャラリーコンパ）
参加者数：9人（うち晴眼者5人）、介護者2人

■聴覚障がい者のための　おしゃべり鑑賞ツアー

手話通訳者を介して、対話をしながら当館のコレクションを鑑賞した。また、手話が苦手な参加者には、当館職員が筆記、電子タブレットなどを用いて鑑賞補助を行った。当日は当館ボランティアが本プログラムをサポートした。

日　　時：令和8年2月1日（日）13:30～15:30
参加者数：9人（うち聴者1人）
協　　力：福岡市聴覚障がい者情報センター

■車いすで、ゆったり鑑賞ツアー

車いすを利用する人、長時間歩いての鑑賞が難しい人を対象としたギャラリーツアー。当事者と介護者と一緒に、学芸員がコレクション展示室をまわり、対話をしながら作品と施設について紹介した。

日　　時：令和8年3月27日（金）13:30～15:00
参加者数：車いす利用者4人、介護者5人

全て参加費無料

企画担当：高田瑠美

第11回いきヨウヨウ講座

「アートとヨガで心と体をすこやかに ―ミュージアム・ヨガ」



内容：シニア世代の文化活動をサポートする教育活動のひとつとして、平成25年度より開始。65歳以上の方を対象に、作品鑑賞やものづくり、身体表現など、アートを通して心の充実を実感してもらうことを目指している。令和7年度は、作品鑑賞とヨガの体験を組み合わせ、アートと運動で心身をすこやかにするプログラムを行った。この度のいきヨウヨウ講座では、2階展示室で作品鑑賞の後、モナ・ハトゥム《＋と－》が設置されている空間で椅子を使ったチェアヨガを行った。ヨガに関しては、運動量や運動強度に配慮したシニア・ヨガ（高齢者ヨガ）について経験のあるインストラクターを講師として招聘し、参加者の怪我防止や安全性に配慮した内容とした。

日　　時：令和8年3月16日（月）13：30～15：30
講　　師：中村英子、松村栄子［Yoga 輝（HIKARI）］
場　　所：アートスタジオ、2階展示室
参加人数：19人

企画担当：髙田瑠美

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。令和7年度は下記大学の7人を受け入れた。実習期間は令和7年4月24日から11月30日のうちの10日間。

■北九州市立大学	文学部　人間関係学科	1人
■九州産業大学	芸術学部　芸術表現学科	2人
■佐賀大学	芸術地域デザイン学部　芸術表現コース	1人
■西南学院大学	国際文化学部　国際文化学科	1人
■福岡大学	人文学部　文化学科	1人
■八洲学園大学	生涯学習学科　生涯学習学科	1人

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館では本年度5校を受け入れて、コレクション展示の受付、監視等の体験学習を行った。

令和7年7月4日（金）	平尾中学校	11人
令和7年9月4日（木）	舞鶴中学校	5人
令和7年9月17日（水）	警固中学校	15人
令和7年10月1日（水）	次郎丸中学校	8人
令和7年10月24日（金）	百道松原中学校	6人

やさしい日本語ツアー

内　　容：当館の多文化共生プログラムとして、福岡市在住の日本語を母語としない方を対象に、当館のコレクション展を「やさしい日本語」で対話をしながら鑑賞するツアーを実施。本プログラムは、令和4年度から福岡よかトピア国際交流財団と共催で実施していたものを、当館主催とし、対象者を拡大して実施した。
今年度は「お花見」をテーマにコレクション展を鑑賞し、館外の桜を見たあとで、桜茶を味わいながら参加者同士の交流を深めた。また、参加者には当館で制作した「やさしい日本語ガイドブック」を配布した。

日　　時：令和8年3月29日（日）10:30～12:00

会　　場：コレクション展示室、レクチャールーム

対　　象：福岡市在住の日本語を母語としない人

参加人数：19人

企画担当：崎田明香

図書企画

■美術情報コーナー図書特集

美術情報コーナーの書棚の一部に当館開催の展覧会に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

1.コレクション展関連図書特集
　コレクション展示室での各展示に関連する図書を特集した。
2.特別展関連図書特集
　・令和7年10月11日（土）～11月24日（月・休）「珠玉の近代絵画―「南国」を描く。」関連
　・令和7年12月13日（土）～令和8年3月8日（日）「ブルックリン博物館所蔵 古代エジプト」関連

■夏休みこどもとしょかん

会期：令和7年6月25日（水）～8月24日（日）

会場：古美術企画展示室

内容：夏休みこども美術館2025「みる見るきこえる音楽会」に関連して、美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものや展示作品に関連するものなど、美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような児童向けの絵本・美術書など25冊を特集した。

企画担当：中務美紀

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。

令和7年度の登録人数

ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理	合計（人）
99	51	19	16	185

■総会
日時：令和7年5月28日（水）13：30～14：30
会場：ミュージアムホール
参加人数：56人

■館外研修
日時：令和7年6月8日（日）10：20～14：30
訪問先：出光美術館門司、門司区歴史的建造物
参加人数：31人

■長崎県美術館ボランティア　対話型鑑賞の視察およびボランティア交流会
内容：長崎県美術館の依頼を受けて、同館のボランティアを対象に当館のボランティアが展示中の所蔵品を対話型鑑賞で紹介した。終了後に職員が各館の活動を紹介し、意見交換を行った。
日時：令和7年11月14日（金）13:30～15:30
会場：アートスタジオ
参加人数：40人（当館・長崎県美術館ボランティアの合計人数）

■ボランティア交流会
日時：令和8年1月13日（火）
会場：アートスタジオ
参加人数：65人（うちOB 1人）

ギャラリーガイドボランティア

［活動内容］

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、コレクション展の展示作品から3作品を選び、対話型で作品鑑賞をする活動を行っている。参加は無料。

■団体向けツアー

ギャラリーツアー以外に、申込みをいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。

実施数　団体数16件　児童・生徒217人　一般188人　引率61人　総計466人

来館日程	団体名	児童・生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年5月11日（日）	アートスクールひみつきち	34		25	59
令和7年5月24日（土）	福岡市立中央児童会館あいくる　幼児絵画クラブ	15	17	3	35
令和7年6月27日（金）	養巴幼稚園	17		5	22

来館日程	団体名	児童・生徒（人）	一般（人）	引率（人）	合計（人）
令和7年7月24日（木）	福岡市立有田小学校　職員研修		30		30
令和7年7月27日（日）	姪浜駅南1丁目自治会	18	16		34
令和7年7月30日（水）	中央区小学校校長会　研修		10		10
令和7年9月12日（金）	福津市教育委員会　郷育カレッジ		22	3	25
令和7年9月26日（金）	オルタナティブスクール　スタディプレイス	19		4	23
令和7年10月28日（火）	東福岡学園自由ヶ丘幼稚園	73		8	81
令和7年11月14日（金）	長崎県立美術館ボランティア		43		43
令和8年1月27日（火）	NPO法人　宗像コスモス会		22		22
令和8年2月6日（金）	個人団体		5		5
令和8年2月12日（木）	N中等部　福岡薬院キャンパス	4		1	5
令和8年2月23日（月）	福祉ルームみらい原	10		5	15
令和8年3月5日（木）	別府公民館		23	2	25
令和8年3月7日（土）	八女市立花公民館	27		5	32

■スクールツアー

学校団体を対象にギャラリーツアーを行っている。詳細は「スクールツアー」の項目（p.21）を参照のこと。

■対話型アート鑑賞事業　ボランティア研修

令和6年度より開始した対話型アート鑑賞事業（詳細はスクールツアーp.21）に関連して、外部講師によるボランティアを対象とした研修を行った。

研修内容	日時	講師	会場	対象	参加人数
福岡市美術館のコレクション―近現代美術1	令和7年7月18日（金） 12:00～13:30	山口洋三（インディペンデントキュレーター）	ミュージアムホール	ギャラリーガイドボランティア	48人
福岡市美術館のコレクション―近現代美術2	令和7年9月19日（金） 12:00～13:30	山口洋三（インディペンデントキュレーター）	ミュージアムホール	ギャラリーガイドボランティア	56人
対話型鑑賞実践研修1 （3回連続講座）	令和7年12月6日（土） 14:00～16:00	春日美由紀 （Art&Communication Lab.うるとらまりん代表）	アートスタジオ	ギャラリーガイドボランティア （新規ボランティア）	22人
対話型鑑賞実践研修2	令和7年12月14日（日） 14:00～16:00				24人
対話型鑑賞実践研修3	令和8年1月17日（土） 14:00～16:00				20人
多様なこどもたちの理解のために	令和8年3月1日（日） 10:00～11:30	二宮未央（福岡市立発達障がい者支援センター）	ミュージアムホール	ギャラリーガイドボランティア	43人

新聞情報ボランティア

［活動内容］

日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。月に1回合同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。死亡記事の整理作業は、月末に各曜日グループ持ち回りで行う。

月曜日グループ：毎日新聞
火曜日グループ：読売新聞
水曜日グループ：西日本新聞
木曜日グループ：朝日新聞
土曜日グループ：日経新聞

図書整理ボランティア

［活動内容］

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

■作家資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。
古くなった資料保存用の袋を新しいものに作り替える。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に貼付する。
資料を書架に配架する。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンで入力する。また、入力された情報が正しいかどうかチェックする。

■新規受け入れ図書の点検・配架

新しく受け入れる図書の装備（登録番号、ラベル、蔵書印）を点検後、所定の位置に配架する。

■書架整理

配架している図書の場所を調整、移動、整理する。

■蔵書点検

図書が書架の正しい場所にあるか、紛失・破損等がないかを点検する。

美術家情報整理ボランティア

［活動内容］

①美術家による活動についてのDM（ダイレクトメール）を内容別に分類し、作家名、展覧会（イベント）名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化している。令和8年3月31日現在で27382件のデータを入力済み。
②データ入力の済んだDMをスキャンして整理し、作家名別、会場別に保管する。

［活動日］

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。

■令和7年度　共同作業日

5月20日（火）13:30～
6月18日（水）13:30～
7月17日（木）10:30～
9月26日（金）13:30～
10月 20日（月）10:30～
11月25日（火）13:30～
12月17日（水）10:30～
1月22日（木）13:30～
2月27日（金）13:30～
3月 30日（月）10:30～

出版物

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
令和6年度　福岡市美術館活動の記録	A4	74	令和7年12月25日

■展覧会図録

名称	規格	頁数	発行日
一杉コレクション展　　魅惑のインドネシア染織	B5	104	令和7年12月17日
浦川大志個展　スプリット・アイランド	A4	96	令和8年1月6日

■コレクション展リーフレット（近現代美術）

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
作品リスト	コレクションハイライト	B5	4	近現代美術室A・C	令和6年 6月13日
作品リスト	新収蔵品展	B5	2	近現代美術室A	令和7年3月25日
作品リスト	コレクションハイライト	B5	4	近現代美術室A・C	令和7年6月12日
作品リスト	懐かしの風景～ニッポンの夏～	B5	2	近現代美術室A	令和7年6月12日
作品リスト	飛躍のためのドローイング	B5	4	近現代美術室B	令和7年6月12日
作品リスト	「北」へのまなざし	B5	2	近現代美術室A	令和7年9月2日
作品リスト	菊畑茂久馬展	B5	2	近現代美術室B	令和7年9月2日
作品リスト	奈良原一高「消滅した時間」	B5	4	近現代美術室B	令和7年11月5日
作品リスト	美術館でお花見を!	B5	2	近現代美術室A	令和7年12月23日
作品リスト	新収蔵品展	B5	2	近現代美術室A	令和8年3月24日

■コレクション展リーフレット（古美術）

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
作品リストF版	東光院のみほとけ	B5	2	東光院仏教美術室	令和7年2月18日
作品リスト	華やぐ家具調度	B5	2	古美術企画展示室	令和7年3月19日
作品リスト	桜花爛漫	B5	2	古美術企画展示室	令和7年3月19日
作品リスト	春の名品展	B5	2	松永記念館室	令和7年3月25日
田中丸コレクション解説第12号	九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼	B5	6	古美術企画展示室	令和7年4月23日
解説第254号	松永耳庵 夏の茶事	B5	4	松永記念館室	令和7年6月3日
作品リスト	夏休みこども美術館2025　みる見る きこえる 音楽会	B5	2	古美術企画展示室	令和7年6月25日
作品リストA版	東光院のみほとけ	B5	2	東光院仏教美術室	令和7年6月25日
作品リスト	秋の名品展	B5	2	松永記念館室	令和7年8月19日
解説第255号	仙厓展	B5	4	古美術企画展示室	令和7年8月26日
解説第256号	大名の美術	B5	4	古美術企画展示室	令和7年10月21日
解説第257号	異国へのまなざし	B5	4	松永記念館室	令和7年10月28日
作品リストB版	東光院のみほとけ	B5	2	東光院仏教美術室	令和7年11月18日
作品リスト	古代エジプトの染織―コプト裂―	B5	2	松永記念館室	令和8年1月20日
作品リスト	百花競妍	B5	2	古美術企画展示室	令和8年3月18日
作品リストC版	東光院のみほとけ	B5	2	東光院仏教美術室	令和8年2月17日
作品リスト	春の名品展	B5	2	松永記念館室	令和8年3月24日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館　研究紀要　第14号	A4	65	令和8年3月13日

■福岡市美術館　季刊誌　エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
219	所蔵品紹介「紅型衣装 黄地横雲枝垂桜流水菖蒲文」[後藤恒]／なぜいま「博物館浴」が注目されるのか／素敵を探しに、ミュージアムショップへ!／新規ボランティア研修レポート[﨑田明香]／美術館スケジュール／LECTUREつきなみ講座／RESTAURANT & CAFÉ／ふくおか応援寄付／わたすclub／利用案内	B5 変形	12	令和7年4月1日
220	所蔵品紹介「旗亭涼宵」[花田珠可子]／新しいコレクションハイライト[忠あゆみ]／第3回 福岡アートアワード受賞作をご紹介します。[渡抜由季]／Enjoy!夜間会館／夏休みこども美術館2025「みる見る きこえる 音楽会」[冨坂綾子]／美術館スケジュール／LECTUREつきなみ講座／MUSEUM SHOP／ふくおか応援寄付／わたすclub／利用案内	B5 変形	12	令和7年7月1日
221	所蔵品紹介「重要文化財 十二神将 未神[宮田太樹]／なぜ日本人画家は「南国」を描いたのか? [ラワンチャイクン寿子]／「北」へのまなざし[ラワンチャイクン寿子]／異国へのまなざし[宮田太樹]／この秋、菊畑茂久馬の世界へ[花田珠可子]／前川國男と福岡市美術館／展示室で作品を見ながら新しく始まった音声ガイドを聞いてみよう![髙田瑠美]／美術館スケジュール／LECTUREつきなみ講座／RESTAURANT & CAFÉ／ふくおか応援寄付／わたすclub／利用案内	B5 変形	12	令和7年10月1日
222	所蔵品紹介「オペラグラス」[花田珠可子]／あなたには、この謎が解けるか!?古代エジプト三千年の謎に迫る[後藤恒]／インドネシア染織の、ステキの理由[岩永悦子]／「ある」と「ない」のあいだー浦川大志が描く風景のかたち／美術館スケジュール／LECTUREつきなみ講座／MUSEUM SHOP／ふくおか応援寄付／わたすclub／利用案内	B5 変形	12	令和8年1月1日

連携企画

■菊畑茂久馬没後5周年企画　LINKS―菊畑茂久馬

内　　容：福岡を拠点とした画家・菊畑茂久馬の没後5年にあたり、菊畑作品を所蔵する全国の美術館がリレー形式で所蔵品を展示する当企画と関連し、当館のコレクション展示室でも特集展示を行った。
日　　時：令和7年9月2日（火）～11月3日（月・祝）
会　　場：近現代美術室B
観覧者数：54,717人（会期中のコレクション展観覧者数）
主　　催：一般社団法人菊畑茂久馬美術青家協会
共　　催：福岡市美術館
・関連イベント〈シンポジウム「菊畑茂久馬を今日的に見る」〉
内容：菊畑茂久馬の思想と作品が持つ今日性について、1980年代生まれの研究者とアーティストによるシンポジウムを行った。
日時：令和7年10月5日（日）14：00～16：00
講師：山本浩貴（文化研究者、実践女子大学文学部准教授）、原田裕規（アーティスト）、山口洋三（インディペンデントキュレーター）
会場：レクチャールーム
参加人数：63人
主催：一般社団法人菊畑茂久馬美術青家協会、福岡市美術館

協力事業

■令和7年度九附連「図画工作・美術科部会」福岡大会

内　　容：九州地区国立大学法人附属学校連盟の依頼を受けて、「図画工作・美術科部会」福岡大会の中で、当館の対話型鑑賞について学芸員がレクチャーをした後に、当館ボランティアが展示中の所蔵品を対話型鑑賞で紹介するツアーを実施した。
日　　時：令和7年7月31日（木）14：30～16：00
会　　場：福岡市美術館
講　　師：﨑田明香（当館学芸員）
共　　催：小学校・中学校・大学教員　計23人

■日本建築学会大会（九州）ガイドツアー

内　　容：日本建築学会大会（九州）からの依頼を受けて、大濠公園周辺地区を紹介するガイドツアーの一環として、当館の建築について総館長の中山が案内を行った。
日　　時：令和7年9月12日（金）9:40～11:10
会　　場：福岡市美術館
講　　師：中山喜一朗（当館総館長）
参加人数：20人

■福岡市立南当仁小学校　アート体験授業

内　　容：福岡市立南当仁小学校が実施する6年生を対象とする日本画をテーマにした鑑賞と制作体験の授業において、当館の学芸員がゲストティーチャーとして依頼を受け、福岡教育大学教育学部の松久公嗣教授と協力し授業を行った。なお、授業では同校に貸出した当館のアウトリーチ教材（屏風、日本画ボックス）を用いた。
日　　時：令和7年12月18日（木）10:30～12:00
会　　場：福岡市立南当仁小学校
対　　象：小学6年生
講　　師：松久公嗣（福岡教育大学教育学部美術教育研究ユニット）、﨑田明香（当館学芸員　教育普及係）
参加人数：133人

館外調査

福岡市美術館では、諸事業の充実を図りその効果を高めるため、たゆまぬ調査研究活動に努めている。以下は令和7年度に館外にておこなった主な調査研究記録である。

日時	目的	訪問先	日数	担当	関連する事業
令和7年7月17日、18日	朝鮮王朝前期美術に関する講演会（17日）、およびシンポジウム（18日）の聴講	韓国・国立中央博物館	2日間	宮田太樹	科学研究費　基盤研究（A）「作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究―彫刻・絵画・写経を中心に―」（研究代表者：井手誠之輔）
令和8年3月5日～7日	対馬に伝来する渡来仏調査	対馬博物館、黒瀬観音堂、法清寺、海神神社（いずれも長崎県対馬市）	3日間		
令和8年1月14～22日	シンガポールにおける美術館の作品保存管理調査	シンガポール・Heritage Conservation Center他	9日間	渡抜由季	第6回NCARスタディ・ツアー（国立アートリサーチセンター主催）

紀要の発行

令和7年度、福岡市美術館において「福岡市美術館　研究紀要　第14号」を発行した。
内容は以下の通りである。

題目	執筆者
満州の甲斐巳八郎　雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事 ⑧	中山喜一朗
福岡市美術館における「バリアフリーギャラリーツアー」について、事業の成り立ちと概要、活動事例報告 2024年度実施の「視覚障がい者のためのおしゃべりとてざわりのツアー」を中心として	髙田瑠美
対象者を軸にたどる福岡市美術館の「教育普及活動」の変遷：①1979-1994	﨑田明香
『雲中庵茶会記』翻刻稿 ⑩	浦塚省二・後藤恒

美術資料

令和7年度は近現代美術作品86点、古美術作品22件を収集した。

近現代美術

所蔵品番号順

寄贈（73点）

No.	所蔵品番号	種別	作者名	作品名	制作年	技法	寸法（縦×横×奥行cm）
1	1-A-778	油彩等	瑛九	飯田橋風景	1941	油彩・画布	39×31
2	1-A-779	油彩等	瑛九	二人	1943	油彩・画布	30×24
3	1-A-780	油彩等	瑛九	逓信博物館	1941	油彩・画布	35.5×44
4	1-A-781	油彩等	瑛九	少年時代	c.1953	油彩・画布	21.7×14
5	1-A-782	油彩等	瑛九	赤い矢	1954	油彩・画布	40×30.7
6	1-A-783	油彩等	瑛九	水辺のたわむれ/水の上	1957	油彩・画布	52.2×36.7
7	1-A-784	油彩等	田中　繁吉	（題不詳）	1930s	油彩・画布	53.5×65.5×2.1
8	1-C-307	水彩	瑛九	風景	1942	水彩・紙	12.5×32.6
9	1-D-485	素描	瑛九	田園風景	1938	墨・紙	20×29
10	1-D-486	素描	田中　繁吉	（題不詳）	1931	鉛筆・紙	43×54.9
11	1-E-1068	版画	瑛九	あつまり	1956	リトグラフ・紙	64.5×46.2
12	1-E-1069	版画	瑛九	鳥の芝居	1956	リトグラフ・紙	45×60.3
13	1-E-1070	版画	瑛九	（題不詳）	1956	リトグラフ・紙	66.5×48
14	1-E-1071	版画	瑛九	赤いシグナル	1956	リトグラフ・紙	39×27.3
15	1-E-1072	版画	瑛九	海辺の孤独	1957	リトグラフ・紙	52.2×36.7
16	1-F-797	写真	瑛九	（題不詳）	c.1950s	ゼラチンシルバープリント	21.2×26
17	1-F-798	写真	鋤田　正義	忌野清志郎	1991（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
18	1-F-799	写真	鋤田　正義	マーク・ボラン：Get It On	1972（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
19	1-F-800	写真	鋤田　正義	マーク・ボラン：Teenage Dream	1972（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
20	1-F-801	写真	鋤田　正義	クラウス・ノミ	1979（プリント：1992）	デジタルプリント	100×120
21	1-F-802	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ	1972（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
22	1-F-803	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：Watch that man Ⅲ	1973（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
23	1-F-804	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ（『Heroes』ジャケット）	1977（プリント：2017）	デジタルプリント	45×45
24	1-F-805	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：氣	1989（プリント：1992）	デジタルプリント	120×100
25	1-F-806	写真	鋤田　正義	映画『書を捨てよ 町へ出よう』より	1971（プリント：2006）	デジタルプリント	145.5×103
26	1-F-807	写真	鋤田　正義	映画『ワンダフル・ライフ』より	1999（プリント：2006）	デジタルプリント	145.5×103
27	1-F-808	写真	鋤田　正義	映画『ミステリー・トレイン』より	1989（プリント：2006）	デジタルプリント	103×145.5
28	1-F-809	写真	鋤田　正義	映画『波』より	2000（プリント：2006）	デジタルプリント	103×145.5
29	1-F-810	写真	鋤田　正義	マーク・ボラン	1972（プリント：1999）	デジタルプリント	76.5×61
30	1-F-811	写真	鋤田　正義	マーク・ボラン	1972（プリント：1999）	デジタルプリント	76.5×61
31	1-F-812	写真	鋤田　正義	ジェームズ・ホワイト	1980（プリント：1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
32	1-F-813	写真	鋤田　正義	吉田美奈子（『DARK CRYSTAL』ジャケット）	1989（プリント：1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
33	1-F-814	写真	鋤田　正義	ボーイ・ジョージ	1982（プリント：1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
34	1-F-815	写真	鋤田　正義	シーナ&鮎川誠（『MAIN SONGS』ジャケット）	1985（プリント：1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
35	1-F-816	写真	鋤田　正義	アイ・ジョージ	1962（プリント:1992）	デジタルプリント	76.5×61.3
36	1-F-817	写真	鋤田　正義	ジミ・ヘンドリックス	1970（プリント:1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
37	1-F-818	写真	鋤田　正義	忌野清志郎（『メンフィス』ジャケット）	1991（プリント：1992）	デジタルプリント	61.3×76.5
38	1-F-819	写真	鋤田　正義	イエローマジック・オーケストラ（『ソリッド・ステイト・サヴァイヴァー』ジャケット）	1979（プリント：1992）	デジタルプリント	76.5×61.3
39	1-F-820	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：He'd Blow Our Minds	1973（プリント：2017）	デジタルプリント	63.4×45
40	1-F-821	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：Keep Your 'Lectric Eye	1973（プリント：2025）	デジタルプリント	51.5×51.5
41	1-F-822	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：V-2 Schneider	1977（プリント：2017）	デジタルプリント	117.8×100
42	1-F-823	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：Just for One Day	1977（プリント：2017）	デジタルプリント	60.6×55
43	1-F-824	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：A Day In Kyoto 6 - Departure	1980（プリント：2017）	デジタルプリント	1000×151.3

No.	所蔵品番号	種別	作者名	作品名	制作年	技法	寸法（縦×横×奥行cm）
44	1-F-825	写真	鋤田　正義	無題	不明	デジタルプリント	77×87
45	1-F-826	写真	鋤田　正義	無題	不明	デジタルプリント	77×87
46	1-F-827	写真	鋤田　正義	母	1957（プリント：2025）	デジタルプリント	101.6×76.2
47	1-F-828	写真	鋤田　正義	姪	2018（プリント：2025）	デジタルプリント	101.6×76.2
48	1-F-829	写真	鋤田　正義	Jazz - 01	1968（プリント：2025）	デジタルプリント	101.6×76.2
49	1-F-830	写真	鋤田　正義	Jazz - 02	1968（プリント：2025）	デジタルプリント	101.6×76.2
50	1-F-831	写真	鋤田　正義	Jazz - 03	1968（プリント：2025）	デジタルプリント	101.6×76.2
51	1-F-832	写真	鋤田　正義	デヴィッド・ボウイ：Starman	1973（プリント：2017）	デジタルプリント	54×45
52	1-K-423	その他	瑛九	（題不詳）	不詳	セロファン、油性インク	25.6×21.2
53	2-A-166	油彩等	小林　健二	ヨモツカド	1990	油彩・木板、鉛	222.5×224.5×15.5
54	2-A-167	油彩等	小林　健二	NIGHT ;NIGHT NEVER SLEEPS, WATER STREAMING ON PIOUS PEOPLE	1989	油彩・木板、鉛	119.5×260×6
55	2-E-1639	版画	池田　満寿夫	私の処女10	1958	エッチング・紙	13.5×10.3
56	2-E-1640	版画	池田　満寿夫	夢の記憶	1967	リトグラフ・紙	71×55
57	2-E-1641	版画	池田　満寿夫	アリス	1967	リトグラフ・紙	53×38
58	2-E-1642	版画	池田　満寿夫	YOKO	1980	ドライポイント・紙	36.5×29.5
59	2-E-1643	版画	池田　満寿夫	眼の中の星	1981	ドライポイント・アクアチント・ソフトグランド・エッチング・紙	36.5×22
60	2-E-1644	版画	池田　満寿夫	夏の娘	1984	ソフトグランド・エッチング・紙	34.5×24.5
61	2-E-1645	版画	池田　満寿夫	朝	1989	リトグラフ・紙	65.2×50.2
62	2-E-1646	版画	池田　満寿夫	昼	1989	リトグラフ・紙	65.2×50.2
63	2-E-1647	版画	池田　満寿夫	夕	1989	リトグラフ・紙	65.2×50.2
64	2-E-1648	版画	池田　満寿夫	天平時代B	1989	リトグラフ・紙	66×51
65	2-E-1649	版画	池田　満寿夫	ハートのジュークボックス	1995	リトグラフ・紙	55.8×43.8
66	2-E-1650	版画	池田　満寿夫	ナイトクラブミュージックA	1995	リトグラフ・紙	58×46.7
67	2-E-1651	版画	池田　満寿夫	ナイトクラブミュージックB	1995	リトグラフ・紙	58×46.7
68	2-E-1652	版画	池田　満寿夫	ダンシングハート	1995	リトグラフ・紙	57.5×45.2
69	2-E-1653	版画	池田　満寿夫	人間のすべてⅠ	1997	リトグラフ・紙	44.6×33
70	2-E-1654	版画	池田　満寿夫	人間のすべてⅡ	1997	リトグラフ・紙	43.8×32.8
71	2-E-1655	版画	池田　満寿夫	人間のすべてⅢ	1997	リトグラフ・紙	43.8×32.8
72	15-I-1	書跡	瑛九	瑛九の手紙	1938	紙本墨書	23×31.9
73	15-K-3	その他	瑛九	1983 Calendar 瑛九 Qei Etching	1983	印刷物	52.8×38

購入（13点）

No.	所蔵品番号	種別	作者名	作品名	制作年	技法	寸法（縦×横×奥行cm）
1	1-B-249	日本画	堅山　南風	寝美人	1919	絹本着色	116.8×173.5
2	1-D-487	素描	堅山　南風	（インド素描）インドカルカッタノヒトビト	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	27.2×35
3	1-D-488	素描	堅山　南風	（インド素描）ダージリン	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	25.5×20.5
4	1-D-489	素描	堅山　南風	（インド素描）ガヤカラブッダガヤヘノミチ	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	27.5×17.5
5	1-D-490	素描	堅山　南風	（インド素描）インドノクルマイト	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	25.5×20.5
6	1-D-491	素描	堅山　南風	（インド素描）インドカルカッタコウガイ	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	20.3×25.7
7	1-D-492	素描	堅山　南風	（インド素描）インドカルカッタフキン	1917	墨、鉛筆、淡彩・紙	25×16
8	1-F-833	写真	高橋　渡	（題不詳）	C.1937	ゼラチンシルバープリント	29.1×25
9	1-F-834	写真	高橋　渡	花籠のある風景	1937	ゼラチンシルバープリント	264×24.4
10	27-A-3	油彩等	谷澤　紗和子	お喋りの効能	2025	切り紙（5点1組）	
11	27-G-4	彫刻等	川辺　ナホ	樂園を探して（-Et in Arcadia Ego）	2024	炭、姪浜炭鉱の石炭とシャモット、ゴム、ウレタン、スタイロフォーム、ギブス、カラー写真	200×500×500
12	27-G-5	彫刻等	平野　薫	空の衣服（untitled -war kimono-）	2025	ほぐされた襦袢（綿）	可変
13	27-L-4	映像	宮本　華子	在る家の日常	2024	木材、壁紙、モニター、メディアプレーヤー、日用品（椅子足の保護材、食器洗剤スポンジ、プラスチック製鏡、看板、台所用カーテン、猫用縫いぐるみ、ドールハウス用家具、ミニ食器）	250×379×19

移管（3点）

No.	所蔵品番号	種別	作者名	作品名	制作年	技法	寸法（縦×横×奥行cm）
1	1-A-785	油彩等	手島　貢	南仏マントン風景	1963	油彩・画布	59.2×71
2	1-B-250	日本画	石田　耕古	大和風景	1934	絹本着色	147×209
3	3-A-418	油彩等	アルベール・マルケ	港の二隻の貨物船	c.1942	油彩・画布	46×61

古美術

所蔵品番号順、研究資料は末尾に記載

寄贈（19件）

No.	種別	所蔵品番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量
1	絵画	14-B-87	望月玉川（1794-1852）画、仙厓義梵（1750-1837）賛	富士画賛	江戸時代・19世紀	紙本墨画	縦32.5　横53.8
2	染織	23-Hd-54	インドネシア	草花文様機械レース織ブラウス（クバヤ・クトゥバル）	インドネシア・1950－60年代	合成繊維・上衣	丈64.5　総幅116.5
3	染織	23-Hd-55	インドネシア	帯（スタゲン）	インドネシア・1950－60年代	木綿	縦13.0　横234.0
4	染織	23-Hd-56	インドネシア	肩掛（スレンダン）	インドネシア・1950－60年代	絹（シフォン）か	縦52.0　横180.0
5	染織	23-Hd-57	インドネシア	花文様プリントブラウス（クバヤ・クトゥバル）	インドネシア・1960－1970年代	合成繊維・上衣	丈72.4　総幅149.0
6	資料	研究資料	仙厓義梵（1750～1837）	書簡	江戸時代・19世紀	紙本墨書	縦28.2　横135.4
7	資料	研究資料	カンボジア	植物文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹、金糸	縦93.4　横107.7
8	資料	研究資料	カンボジア	ざくろ植物文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2024年	絹	縦96.8　横104.3
9	資料	研究資料	カンボジア	仏教寺院合掌手文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2024年	絹	縦94.3　横100.7
10	資料	研究資料	カンボジア	紋章入唐草斜格子文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2024年	絹、金糸	縦97.7　横101.7
11	資料	研究資料	カンボジア	孔雀植物文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2018年	絹	縦97.0　横99.8
12	資料	研究資料	カンボジア	カンボジア国花文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹	縦96.2　横103.2
13	資料	研究資料	カンボジア	花菱文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹、金糸	縦97.7　横101.3
14	資料	研究資料	カンボジア	花入唐草斜格子文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹	縦96.5　横105.3
15	資料	研究資料	カンボジア	幾何学文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹、金糸	縦97.0　横98.5
16	資料	研究資料	カンボジア	植物文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹、化学繊維、金糸	縦95.5　横102.0
17	資料	研究資料	カンボジア	幾何学文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹	縦97.0　横104.3
18	資料	研究資料	カンボジア	植物文様緯紋織文様見本裂	カンボジア・2025年	絹	縦96.0　横104.3
19	資料	研究資料	カンボジア	幾何学文様緯紋織スカート	カンボジア・2025年	絹	縦93.5　横52.8

購入（3件）

No.	種別	所蔵品番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量
1	絵画	14-B-86		秋景山水図	朝鮮王朝時代・15世紀	絹本墨画淡彩	縦34.7　横22.1
2	陶磁	14-Ha-226	12代・佐藤助九郎［助庵］（1896～1979）	志野茶碗　銘「白山」	昭和38年（1963）	施釉陶器	高さ9.1　口径11.2 胴径12.7　高台径7.0
3	その他	14-Hf-11	松永安左エ門［耳庵］（1875-1971）	竹一重切花入　銘「芝垣」	昭和38年（1963）	竹製	高さ31.2　幅6.8 奥行5.3

図書・映像資料

図書

単位（冊）

		和書	洋書
購入	図書	46	2
	図録	5	1
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	81	9
	図録	483	30
	年報・紀要	224	0
製本資料		0	0
雑誌		301	48
合計		1140	90
総計		1230	

映像資料

単位（点）

購入	CD	0
	DVD	0
寄贈	CD	0
	DVD	0
合計		0

修　復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法(cm)	制作年	技法	数量
油彩等	1-A-563	秋吉　資夫	能古にひろう	100.3×72.6	1971	油彩・画布	1
油彩等	1-A-777	多々羅　義雄	台湾風景(新竹東門城)	47.0×58.0	1934年頃	油彩・画布	1
油彩等	2-A-59	白髪　一雄	丹赤	211.9×273.3×4.5	1965	油彩・画布	1
日本画	2-B-35	川端　龍子	唐黍	125.3×35.7	制作年不詳	絹本着色、掛幅	1
彫刻	2-G-23	草間　彌生	南瓜	200.0×250.0×250.0	1994年	FRP、ウレタン塗装	1

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
絵画	4-B-43	長谷川派、春屋宗園(1529-1611)賛	如水居士像	縦108.5　横49.8	桃山時代・17世紀	絹本着色	1幅
陶磁	6-Ha-156		白地色絵四葉文鉢	高6.7　口径19.7 高台径7.6	ペルシア・9−10世紀	陶器	1口
金工	6-Hc-19		線刻大日如来像経筒	高31.8　胴径12.3	平安時代・10−12世紀	青銅製鍍金	1基
書跡	6-I-1	空海	金剛般若経開題残巻(重要文化財)	縦26.7　横43.2	平安時代・9世紀	紙本墨書	1幅
絵画	14-B-15	伝・申師任堂	茄子双鳥図	縦89.8　横48.1	朝鮮王朝時代・16世紀	絹本着色	1幅
彫刻	14-G-9		無量寿仏坐像(塼仏)	高さ11.4　幅4.2 最大厚3.0	清時代・乾隆49年(1784)	粘土	1個

貸　出

近現代美術

種別	作者名	作品名	所蔵番号	展覧会名	会場	会期
油彩等	レオナール・フジタ(藤田　嗣治)	仰臥裸婦	3-A-6	CITY OF OTHERS: ASIAN ARTISTS IN PARIS, 1920s-1940s	ナショナル・ギャラリー・シンガポール	令和7年4月2日(水)〜8月17日(日)
油彩等	坂田　一男	コンポジション	2-A-30			
油彩等	萩谷　巌	魚の静物	1-A-190			
油彩等	ルイ=ジョゼフ=ラファエル・コラン	若い娘	3-A-2	LINKS ―大分と、世界と。	大分県立美術館1階展示室Aおよび3階展示室C	令和7年4月26日(土)〜6月22日(日)
油彩等	吉田　博	渓流	1-A-218			
水彩	吉田　ふじを	窓辺の花	1-C-229			
油彩等	篠原　有司男	ドリンク!!	2-A-130			
素描	赤瀬川　原平	千円札(風倉匠の肖像)	2-D-1520			
写真	小林　正徳	集団ポートレート(檻)	1-F-544			
油彩等	髙島　野十郎	早春池畔	1-A-280	没後50年 髙島野十郎展	千葉県立美術館、福岡県立美術館、豊田市美術館、大阪中之島美術館、渋谷区立松濤美術館、宇都宮美術館	令和7年7月18日(金)〜9月28日(日)(千葉県立美術館)、令和7年10月11日(土)〜12月14日(日)(福岡県立美術館)、令和8年1月6日(火)〜3月15日(日)(豊田市美術館)、令和8年3月25日(水)〜6月21日(日)(大阪中之島美術館)、令和8年7月4日(土)〜9月6日(日)(渋谷区立松濤美術館)、令和8年9月20日(日)〜12月6日(日)(宇都宮美術館)
油彩等	髙島　野十郎	寧楽の春	1-A-281			

種別	作者名	作品名	所蔵番号	展覧会名	会場	会期
版画	ケーテ・コルヴィッツ	犠牲(連作『戦争』-1)	16-E-1453	ゴヤからピカソ、そして長崎へ　芸術家が見た戦争のすがた	長崎県美術館	令和7年7月19日(土)～9月7日(日)
版画	ケーテ・コルヴィッツ	寡婦Ⅰ(連作『戦争』-4)	16-E-331			
版画	ケーテ・コルヴィッツ	凌辱(連作『農民戦争』ー2)	16-E-957			
版画	ケーテ・コルヴィッツ	戦場(連作『農民戦争』-6)	16-E-327			
版画	ケーテ・コルヴィッツ	パンを!	16-E-960			
油彩等	サルバドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	The Madonna de Portlligat. An oneiric explosion	Dalí Theatre-Museum	令和7年9月17日(水)～令和8年2月22日(日)
油彩等	モーリス・ユトリロ	郊外の通り	3-A-40	モーリス・ユトリロ展	SOMPO美術館	令和7年9月20日(土)～12月14日(日)
油彩等	田部　光子	繁殖する(1)	1-A-332	アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦	豊田市美術館、東京国立近代美術館、兵庫県立美術館	令和7年10月4日(土)～11月30日(日)(豊田市美術館) 令和7年12月16日(火)～令和8年2月8日(日)(東京国立近代美術館) 令和8年2月28日(土)～5月6日(水)(兵庫県立美術館)
油彩等	田部　光子	繁殖する(2)	1-A-333			
油彩等	田部　光子	作品	1-A-334			
油彩等	田部　光子	ああ!寺山修司	1-A-589			
素描	田部　光子	題不詳	1-D-473			
素描	田部　光子	題不詳	1-D-474			
素描	田部　光子	題不詳	1-D-475			
素描	田部　光子	題不詳	1-D-476			
油彩等	田部　光子	プラカード	1-A-587	プラカードのために	国立国際美術館 熊本市現代美術館	令和7年11月1日(土)～令和8年2月15日(日)(国立国際美術館) 令和8年9月19日(土)～令和8年11月29日(日)(熊本市現代美術館)
油彩等	田部　光子	プラカード	1-A-588			
油彩等	田部　光子	たった一つの実在を求めて	1-A-662			
油彩等	田部　光子	たった一つの実在を求めて	1-A-518			
油彩等	田部　光子	たった一つの実在を求めて	1-A-663			
油彩等	田部　光子	たった一つの実在を求めて	1-A-485			
油彩等	田部　光子	セックス博物館1	1-A-335			
油彩等	田部　光子	セックス博物館2	1-A-336			
彫刻等	田部　光子	MY SON Ⅱ	1-G-98			
油彩等	田部　光子	題不詳(人形シリーズ)	1-A-757			
油彩等	田部　光子	へんじょうこんごう	1-A-758			
油彩等	田部　光子	最後の晩餐のデザート	1-A-519			
油彩等	田部　光子	落ちた偶像	1-A-520			
油彩等	田部　光子	歴史的宇宙学	1-A-523			
油彩等	田部　光子	青春の門　故郷へ帰る	1-A-524			
油彩等	田部　光子	ヘルシーライフ	1-A-527			
油彩等	田部　光子	セクシーライフ	1-A-528			
油彩等	田部　光子	あゝ実存主義	1-A-531			
油彩等	田部　光子	0次元と京都大学	1-A-532			
油彩等	田部　光子	Sign Language	1-A-590			
油彩等	田部　光子	林檎物語	1-A-764			
油彩等	古賀　春江	生誕	1-A-38	ちくごist　深よみ　古賀春江	久留米市美術館	令和7年11月8日(土)～令和8年1月18日(日)
油彩等	多々羅　義雄	工場風景	1-A-87	鉄と美術　鉄都が紡いだ美の軌跡	北九州市立美術館本館　企画展示室	令和8年1月4日(日)～令和8年3月15日(日)
油彩等	吉田　博	溶鉱炉	1-A-301			
油彩等	光安　浩行	生産	1-A-246			

古美術

種別	産地(作者)	作品名	所蔵番号	展覧会名	会場	会期
絵画		病草紙・肥満の女(重要文化財)	6-B-13	没後50年記念特別展「矢代幸雄と大和文華館―芸術を愛する喜び―」	大和文華館	令和7年4月12日(土)～5月25日(日)
絵画		地獄草紙断簡・勘当の鬼(重要文化財)	6-B-12			
金工		王子形水瓶	6-Hc-6			
漆工	蓮仏	二月堂練行衆盤	6-Hb-23			

種別	産地（作者）	作品名	所蔵番号	展覧会名	会場	会期
絵画	伝・申師任堂	茄子双鳥図	14-B-15	特別展「朝鮮前期の美術」	韓国・国立中央博物館　特別展示室	令和7年6月10日（火）～8月31日（日）
絵画		山水行旅図	14-B-22			
絵画	蓬莱山人帰橋	『左羅紗便覧』	14-B-77	巡回展「カルン・タカール・コレクション　インド更紗 世界をめぐる物語」	東京ステーションギャラリー	令和7年9月13日（土）～11月9日（日）
陶磁		高麗雨漏茶碗	6-Ha-60			
絵画	伝・銭選	牡丹図	6-B-8			
陶磁		志野筒茶碗　銘「露香」	6-Ha-65			
絵画	宮本武蔵	布袋見闘鶏図（重要美術品）	6-B-29	国境の島伝統文化継承展　「松永安左エ門 生誕150周年記念展」	壱岐市立一支国博物館	令和7年9月14日（日）～令和7年10月31日（金）
書跡	一休宗純	一休宗純墨蹟（七言絶句）	6-I-10			
書跡	千利休	千利休消息　嶋竹の文	6-I-19			
絵画	伝・雪舟	山水図	6-B-22			
陶磁	長次郎	黒楽茶碗　銘「次郎坊」	6-Ha-62			
陶磁		黒織部筒茶碗 銘「さわらび」	6-Ha-66			
漆工		花鳥螺鈿描金盒子	14-Hb-35	特別展「百般紅翠斗芳菲 宋元明漆器珍品展」	中国・上海博物館	令和7年9月26日（金）～令和7年11月23日（日）
陶磁	上野焼　釜ノ口窯	上野割山椒形向付 6口のうち3口	6-Ha-110	令和7年度特別展「江戸時代に華ひらいた福岡のやきもの」	九州歴史資料館第1展示室	令和7年10月11日（土）～12月7日（日）
陶磁	高取焼　永満寺宅間窯	肩衝茶入	14-Ha-11			
陶磁	高取焼　内ヶ磯窯	飴釉肩衝茶入	14-Ha-119			
陶磁	高取焼　内ヶ磯窯	斑釉透文手付台鉢	14-Ha-138			
陶磁	高取焼　内ヶ磯窯	綴目一重口水指	14-Ha-125			
陶磁	高取焼　白旗山窯	黄釉荷葉形手付鉢	14-Ha-98			
陶磁	高取焼　白旗山窯	褐釉碗形向付	14-Ha-2			
陶磁	高取焼　小石原鼓窯	印花菊文四方皿	14-Ha-49			
陶磁	高取焼　大鋸谷窯 大休軒芳園作	荷葉蛙香合（黒田家伝来）	14-Ha-121			
陶磁	須恵焼	白磁椎茸形手付鉢	24-Ha-8			
陶磁	高取焼　大鋸谷窯	褐釉唐獅子香炉 （黒田家伝来）	14-Ha-50			
絵画	呂紀	花鳥図	4-B-3	鳥取県立美術館令和7年度秋期企画展「めでたし!うるわし!ときにいさまし!? THE　花鳥画ー日本美術といきものたちー」	鳥取県立美術館	令和7年10月11日（土）～令和7年11月24日（月・祝）
絵画	伝・辺文進	百鳥図	4-B-196			
絵画	狩野探幽	獺図	4-B-13			
絵画	仙厓義梵	虎図	9-B-46			
絵画	狩野常信	瑞亀図	4-B-16			
絵画		犬追物・遊猟図巻	4-B-82			
陶磁	景徳鎮窯	瑠璃祥瑞六角茶碗	6-Ha-68	特別展「古染付と祥瑞―愛しの青―」	五島美術館	令和7年10月28日（火）～12月7日（日）
陶磁		粉吹縄耳水指	6-Ha-98			
陶磁	景徳鎮窯	古染付山水絵水指	6-Ha-99			
陶磁	上野焼　釜ノ口窯	上野割山椒形向付 6口のうち3口	6-Ha-110			
絵画	伝・牧谿画、 樵隠悟逸賛	五祖荷鋤図（重要文化財）	6-B-2	OPAM開館10周年記念「きらめく日本美術 1300年の至宝」	大分県立美術館	令和7年11月22日（土）～令和8年1月14日（木）
絵画	帆足杏雨	耶馬渓図巻	11-B-17			

広報業務

ホームページとSNSの運用

美術館の概要や展示、イベント等をホームページで紹介するほか、SNS（X、フェイスブック、インスタグラム）を活用した情報発信を積極的に行った。

〇福岡市美術館ホームページ https://www.fukuoka-art-museum.jp/
〇福岡市美術館X https://x.com/fukuoka_fam
〇福岡市美術館Facebook https://www.facebook.com/fukuokaartmuseum/
〇福岡市美術館Instagram https://www.instagram.com/fukuokaartmuseum/

令和7年度ホームページ閲覧数、SNSフォロワー数

ホームページ訪問数	X　フォロワー数	Facebook　フォロワー数	Instagram　フォロワー数
1,515,654	15,388人	6,574人	26,000人

プレスリリースなどによる広報

テレビ、新聞、美術出版社、タウン情報誌等の各種メディアに対してプレスリリースを配信。観覧者誘致に向けた取り組みを行う。
各種メディアへの情報提供延べ件数／8,932件

イベントの実施

緑溢れる大濠公園に位置する当館の魅力を最大限に活用し、多くの市民や観光客が楽しめるミュージアムイベントを、年間を通じて実施し、美術以外の入口からも美術館を訪れる人々の賑わいを創出。令和7年度はコンサートを始め、落語会やワークショップ、演劇を実施した。

実施事業		実施日等	会場	参加人数
桂春蝶　独演会	落語	8月3日（日）	ミュージアムホール	180人
リトルダンボール迷路をつくろう！	イベント	10月5日（日）	アートスタジオ	54人
「レガシーピアノ」一般開放	イベント	11月23日（日）	ミュージアムホール	230人
Happy Christmas Times !	コンサート	12月13日（土）	ミュージアムホール	163人
New Years Special Live 塩屋 哲の世界	コンサート	1月10日（土）	ミュージアムホール	313人
『アート×演劇』ワークショップ	イベント	1月11日（日）	アートスタジオ	14人
公演「西のメリーゴーランド」	演劇	2月10日（火）～15日（日）	ミュージアムホール	680人

カフェ・レストラン

1階と2階には、ホテルニューオータニ博多が運営するカフェ「アクアム」と、レストラン「プルヌス」があり、特別展開催期間中は、特別展コラボメニューの提供も行っている。

カフェ「アクアム」

アプローチ広場横にあるガラス張りのカフェでは、きらめく水面を眺めながら軽食やドリンクを楽しめる。朝食にぴったりのパンやコーヒー、サンドウィッチ等のランチメニュー、ケーキやソフトクリーム、アルコールやオードブルを取りそろえ、時間帯や目的によってお好みのアイテムを選択できる。



営業時間／9:00～19:00（ラストオーダー18:30）
※7月～10月の金・土曜日は9:00～20:00
（ラストオーダー19:30）
席数／58席

レストラン「プルヌス」

当館で最も眺めのいい位置にあるレストランでは、大濠公園やエスプラナードを一望できる。地元食材を使った料理など、和食・洋食のランチ、夕日や夜景とともに味わうワイン、週末限定のブランチ等多彩なメニューを提供。また、展覧会とのコラボレーションメニューも実施している。



営業時間／平　日 11:00～20:30（ラストオーダー19:30）
土・日・祝　9:30～20:30（ラストオーダー19:30）
席数／84席

ミュージアムショップ

1階エントランスロビーにあるミュージアムショップでは、当館の所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズやレプリカをはじめ、展覧会図録、地元クリエイターによるグッズ、高取焼や博多織、博多人形などの伝統工芸品などを販売。福岡を訪れた記念や贈り物におすすめの商品も取りそろえる。

営業時間／9:30～17:30
※7月～10月の金・土曜日は9:30～20:00

オリジナル商品

博多人形工房の中村人形が制作・監修した気軽に人形の絵付け体験が楽しめる素焼きの博多人形《MASTER ROAD》、博多人形師の小副川太郎氏監修の福岡市美術館所蔵品モチーフの福かぶり猫《仙厓の虎図・フジタの猫》の他、当館のマスコットで開館以来、着実にファンを増やしている《こぶうしくん》グッズなどを取り扱う。

認定商品／106点、31品目（令和8年3月末）



展示室

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火·祝	水
特別展示室		―							―							―				テレンス・コンラン展 観覧者数:1,502人			テレンス・コンラン展 観覧者数:2,921人							テレンス・コンラン展 観覧者数:1,413人	
ギャラリーA		Artな日々展 観覧者数:406人							第30回 福岡市書道協会展 観覧者数:1,149人							ダネラ　北欧生まれの 手創りじゅうたん 観覧者数:868人							第37回蘭亭書道展 観覧者数:1,020人							第6回MOPあーと展 観覧者数:328人	
ギャラリーB		甍と社とその周辺 (黒川 実 写真展) 観覧者数:508人														遊美塾福岡　写真展 観覧者数:1,082人														黒の密度 ―斎藤モトイ写真展― 観覧者数:278人	
ギャラリーC		田畑伸悟 写真展 「PEAK XV」 観覧者数:982人																												博多を描く会10周年記念展創立35周年 観覧者数:280人	
ギャラリーD		第二回フォト蔵写真展 観覧者数:843人																													
ギャラリーE		子どもデジタル・ デザインコンテスト 入賞作品展 観覧者数:650人							アトリエ霽月仏画展 観覧者数:804人							長丘写真クラブ作品展 観覧者数:702人														フォトクラブ四季彩写真展 観覧者数:350人	
ギャラリーF		第24回日本水彩 久留米福岡支部展 観覧者数:1,070人							第30回 福岡市書道協会展							中村洋一 葦ペン画展 115回ピースボート 寄港地の風景 観覧者数:988人							第65回西日本フォトコンテスト 入賞作品展 観覧者数:1,020人							六人展 観覧者数:240人	

5月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	木	金	土·祝	日·祝	月·祝	火·祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
特別展示室		テレンス・コンラン展 観覧者数:4,296人							テレンス・ コンラン展 観覧者数:2,444人					テレンス・コンラン展 観覧者数:3,469人							テレンス・コンラン展 観覧者数:3,612人							テレンス・ コンラン展 観覧者数:3,487人				
ギャラリーA		第6回MOPあーと展 観覧者数:786人							九州産業大学 芸術学部・ 大学院 芸術研究科 作品展 「九芸展2025」 観覧者数:604人					第26回木曜会 作品展 観覧者数:889人							第78回示現会展 観覧者数:2,356人							第53回 日本の書展 九州展 観覧者数:1,238人				
ギャラリーB		黒の密度 ―斎藤モトイ写真展― 観覧者数:753人												磬心會展 観覧者数:464人																		
ギャラリーC		博多を描く会 10周年記念展 創立35周年 観覧者数:750人												ホタルに逢いに行こう 石井幹夫ホタル写真展 観覧者数:1,119人																		
ギャラリーD														大島睦　葦ペンで 描く九州のまちなみ 観覧者数:646人																		
ギャラリーE		フォトクラブ 四季彩写真展 観覧者数:895人							第56回母の日記念 アトリエ筑紫会 お母さんの似顔絵 コンテスト 観覧者数:453人					のとり絵画塾展 観覧者数:899人																			
ギャラリーF		六人展 観覧者数:863人							修復する男と、 絵の女。 観覧者数:336人					第41回九友会 絵画展 観覧者数:969人																		

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室		テレンス・コンラン展 観覧者数：1,385人		テレンス・コンラン展 観覧者数：6,436人							—							—							Hello Kitty 展 観覧者数：10,816人						
ギャラリーA		第53回 日本の書展 九州展 観覧者数：380人		第120回太平洋展 第59回太平洋 西日本展 観覧者数：2,802人							大濠・舞鶴公園と その周辺の花・鳥・風景 写真展 観覧者数：803人							七隈カルチャーセンター 近藤えみ絵画教室 観覧者数：878人						第84回創元展 福岡巡回展 観覧者数：3,146人						
ギャラリーB											第6回 九州けやき会展 観覧者数：824人							『カワイイ♡ヤツら』 PART1&2 特別バージョン 吉田泰伸　カワイさ余って 可笑しさ×100展 観覧者数：484人												
ギャラリーC																		第9回フォトクラブ niccori写真展 観覧者数：554人													
ギャラリーD																		絵本と書 柚月牡丹個展 観覧者数：779人													
ギャラリーE											あなたはどっち派？ タイとシンガポールの 力作写真 観覧者数：663人							第44回 火曜の仲間展 観覧者数：830人												
ギャラリーF														NRRキルト展 観覧者数：849人				ARS写真クラブ作品展 「雑記帳」 ～それぞれの視線で～ 観覧者数：740人													

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特別展示室		Hello Kitty 展 観覧者数：12,348人							Hello Kitty 展 観覧者数：13,054人							Hello Kitty 展 観覧者数：16,757人								Hello Kitty 展 観覧者数：11,506人							Hello Kitty 展 観覧者数：6,504人		
ギャラリーA									いままでとこれからの 藍と絞り 仁田みかこ展 観覧者数：405人																					知覧を書く 戦後80年 平和を考える （傘寿作） 観覧者数：277人		
ギャラリーB																														Insects, Grass and Flowers 黒川 実 写真展 観覧者数：188人		
ギャラリーC		—							阿部直昭 絵画教室 彩友会 観覧者数：707人							令和7年度 福岡県高文連 福岡地区大会 （第39回美術・工芸展） 観覧者数：1,521人								第23回 九州二紀展 観覧者数：1,027人							二人展 写真：刀根正三絵 画：豊島貴高 観覧者数：328人		
ギャラリーD																														—		
ギャラリーE									Beyond Blue 青の彼方へ 観覧者数：589人																					Monochrome & Colorfull 展 観覧者数：307人		
ギャラリーF									下尾幸生陶展 観覧者数：486人																					日本空間デザイン賞・ 日本サインデザイン賞 受賞作品展2024 観覧者数：228人		

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月·祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室		Hello Kitty 展 観覧者数：8,124人				Hello Kitty 展 観覧者数：16,895人								Hello Kitty 展 観覧者数：15,356人						Hello Kitty 展 観覧者数：16,639人							Hello Kitty 展 観覧者数：17,152人						
ギャラリーA		知覧を書く 戦後80年 平和を考える （傘寿作） 観覧者数：259人																		紫彩展 観覧者数：851人							第1回NPO法人国際 書画印研究会芸術展 観覧者数：938人						
ギャラリーB		Insects, Grass and Flowers 黒川 実 写真展 観覧者数：402人				第56回 正筆会菁華書作展 全国巡回展（九州展） 観覧者数：1,051人								西日本新聞 書道之友展2025 観覧者数：2,039人						CHIKAPPART イラストから立体まで 観覧者数：1,107人							よかも 観覧者数：2,237人						
ギャラリーC		二人展 写真：刀根正三 絵画：豊島貴高 観覧者数：462人																														
ギャラリーD		—																														
ギャラリーE		Monochrome & Colorfull 展 観覧者数：370人				河塚 敦 絵画作品展 観覧者数：800人														会話的鑑賞と蝕図 観覧者数：844人							グループ テオ展 観覧者数：973人						
ギャラリーF		日本空間デザイン賞・ 日本サインデザイン賞 受賞作品展2024 観覧者数：300人				福岡教育大学 書道専攻 OBOG28生展 観覧者数：707人														宮崎恵子写真展 「一期一会」 観覧者数：694人							第2回書道研究 筆聖會書作展 観覧者数：1,286人						

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月·祝	火	水	木	金	土	日	月	火·祝	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室			—							—				コレクターズ展 観覧者数：1,808人				コレクターズ展 観覧者数：2,877人						コレクターズ展 観覧者数：3,970人							—
ギャラリーA			第十八回 旧帝国大学 合同書道展 観覧者数：736人							Triangle Ⅱ 観覧者数：982人								3人の アウトドアート 観覧者数：1,218人						ベイ　米翔 観覧者数：800人							Kinji。が 爆発 3 観覧者数： 100人
ギャラリーB										第40回 「日本の海洋画展」 観覧者数：1,438人								テキスタイル＆ ファイバーアート グループgrasp 第24回展 観覧者数：875人						加藤隆之 個展 観覧者数：824人							景柳 書道学会 作品展 観覧者数： 141人
ギャラリーC																															
ギャラリーD																															
ギャラリーE										すぎもり えいとく展 観覧者数：871人								「写楽会 きままレッスン」 観覧者数：1,032人						青像グループ展 観覧者数：526人							ミクスド メディアの なかまたち展 観覧者数：105人
ギャラリーF										soy FIELD 絵画教室 作品展 観覧者数：1,333人								第11回 野口正幸絵画教室 生徒作品展 観覧者数：1,000人						福岡読売写真クラブ 第16回写真展 観覧者数：883人							リベラル展 観覧者数：147人

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月·祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
特別展示室		―						―				珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：890人				珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：1,326人						珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：1,541人							珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：730人			
ギャラリーA		Kinji。が爆発 3 観覧者数：806人						高齢者作品展 観覧者数：1,978人								第50回 玄霜会 日本画展 観覧者数：676人						福岡市美術連盟 創立30周年記念展 観覧者数：1,403人							角間貴生展『幻想賢治ワールド』 観覧者数：799人			
ギャラリーB		景柳書道学会 作品展 観覧者数：1,141人						ももちカルチャーセンター 美術展 観覧者数：8,413人								第28回石耀展 観覧者数：792人													企画展「一字の書」by Kiun 観覧者数：572人			
ギャラリーC																																
ギャラリーD																													第44回 福岡きりえ展 観覧者数：488人			
ギャラリーE		ミクスドメディアのなかまたち展 観覧者数：856人						異種二人展 観覧者数：1,252人								Lr'm(リリム)写真展 観覧者数：683人													寺本湧哉 写真展「COMPLETELY INCOMPLETE」 観覧者数：361人			
ギャラリーF		リベラル展 観覧者数：1,235人						突展 2025 福岡教育大学美術科 58年度生中心OB有志展 観覧者数：5,592人								第11回示現会福岡支部公募展 及び 第13回示現会福岡支部作品展 観覧者数：742人													第8回自然と彫刻が好きな人たち彫刻展 観覧者数：474人			

11月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	土	日	月·祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室		珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：818人				珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：1,375人						珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：2,092人							珠玉の近代絵画「南国」を描く。 観覧者数：2,374人								―				
ギャラリーA		角間貴生展『幻想賢治ワールド』 観覧者数：578人				第23回 プリマヴェーラ の会作品展 観覧者数：1,154人						岡田豊子 個展 観覧者数：934人																				
ギャラリーB		企画展「一字の書」by Kiun 観覧者数：541人				第46回 中央区市民文化祭 美術作品展 観覧者数：923人						第54回福岡市 高齢者美術展 観覧者数：956人							第17回福岡市 障がい児・者美術展 福岡コアサイドアート 美術展2025 観覧者数：1,305人							第45回 南区美術展 観覧者数：1,002人				
ギャラリーC																														
ギャラリーD		第44回 福岡きりえ展 観覧者数：551人																												
ギャラリーE		寺本湧哉 写真展「COMPLETELY INCOMPLETE」 観覧者数：349人										日本水彩 福南支部展 観覧者数：782人							第11回日洋会 福岡支部展 観覧者数：876人								シニアネット 文化祭 観覧者数：766人			
ギャラリーF		第8回自然と彫刻が好きな人たち彫刻展 観覧者数：482人										北国の透明な空気感に魅せられて 観覧者数：812人							チャーチル会博多 絵画展 観覧者数：824人								「らりるれRO展」 観覧者数：812人			

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
特別展示室			—							—				古代エジプト展 観覧者数：2,794人			古代エジプト展 観覧者数：5,136人							古代エジプト展 観覧者数：3,741人								
ギャラリーA			第5回日本の城 絵暦原画展 観覧者数：735人							西区市民美術展 観覧者数：1,896人							第41回 城南区市民アート展 観覧者数：1,001人							謙慎書道会 九州沖縄展 観覧者数：630人								
ギャラリーB			53回九州行動展 観覧者数：926人																													
ギャラリーC																																
ギャラリーD																																
ギャラリーE			窪田正博展 観覧者数：503人																					風景画に 魅せられて 観覧者数：405人								
ギャラリーF			53回九州行動展							第26回 ふくおか植物画会展 観覧者数：2,672人							九州産業大学 映像メディア専攻 映像展覧会 観覧者数：400人							第22回 姚明中国水墨画 書道研究会展 観覧者数：598人								

1月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
特別展示室							古代エジプト展 観覧者数：7,553人								古代エジプト展 観覧者数：5,217人						古代エジプト展 観覧者数：5,101人							古代エジプト展 観覧者数：4,200人					
ギャラリーA																					ファインアート展（第54回 福岡市中学校特別支援 学級合同作品展 観覧者数：2,214人											
ギャラリーB															令和7年度 博多区 文化・芸術展 観覧者数：1,532人						第9回福岡市立 博多工業高等学校 インテリア科 卒業制作展 観覧者数：2,345人							第109回 二科展 巡回福岡展 観覧者数：2,208人					
ギャラリーC							第72回 福岡県小学校児童画展 観覧者数：6,841人																											
ギャラリーD																																
ギャラリーE															令和7年度 中央区高齢者 作品展 観覧者数：925人						ファインアート展 （第54回福岡市中学校 特別支援学級 合同作品展											
ギャラリーF															福岡市中学校 書作品展 観覧者数：1,317人																	

2月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水・祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土
特別展示室		古代エジプト展 観覧者数：1,626人		古代エジプト展 観覧者数：5,776人							古代エジプト展 観覧者数：7,889人							古代エジプト展 観覧者数：11,898人								古代エジプト展 観覧者数：5,102人			
ギャラリーA		第109回 二科展 巡回福岡展 観覧者数：1,078人		福岡市中学校美術展 観覧者数：7,010人							第57回 九州産業大学 造形短期大学部 卒業制作展 観覧者数：1,689人							第51回 西日本書美術展 観覧者数：2,309人							第92回 独立展 観覧者数：692人			
ギャラリーB																													
ギャラリーC																													
ギャラリーD																													
ギャラリーE																													
ギャラリーF																													

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金・祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室		古代エジプト展 観覧者数：2,539人		古代エジプト展 観覧者数：10,273人							—							—							第57回 福岡市美術展 観覧者数：2,698人								—
ギャラリーA		第92回 独立展 観覧者数：312人		ADAA 2025アジア デジタルアート大賞 FUKUOKA受賞 作品展 観覧者数：1,249人							第78回 二紀展 福岡巡回展 観覧者数：1,536人							九州大学卒展 観覧者数：575人							第57回 福岡市美術展 観覧者数：2,186人							アクリル画と メタルアート 観覧者数：47人
ギャラリーB																		恵　回顧展Ⅱ ～水墨花～ 観覧者数：787人														九大・福大・ 福工大 合同展示会 観覧者数：100人
ギャラリーC																		猪又　徹展 観覧者数：1,248人														
ギャラリーD																																第21回子ども デジタル・ デザイン コンテスト 作品展示会 観覧者数：90人
ギャラリーE																		フォト百道浜創立 25周年 記念写真展 観覧者数：727人														
ギャラリーF																		碧園アート教室展 観覧者数：925人														時の色 観覧者数：109人

特別展示室	FaN Week2025 コレクターズⅣ―トリガーと鏡― 会期：令和7年9月13日(土) ～ 9月28日(日) 2人のアートコレクター（遠山正道氏・吉田浩一郎氏)が所有する作品を、コレクターの思いとともに紹介した。

ミュージアムホール等

	ミュージアムホール		アートスタジオ		レクチャールーム		アプローチ広場		ロビー		エスプラナード		合計	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
4月	14	1,246	10	159	24	373	3	15	1	0	3	165	55	1,958
5月	19	1,258	9	495	17	267	9	613	3	42	1	3	58	2,678
6月	15	1,534	11	551	25	519	7	832	0	0	0	0	58	3,436
7月	13	1,331	14	826	23	557	9	1,546	0	0	0	0	59	4,260
8月	15	1,039	14	397	16	420	9	1,285	0	0	0	0	54	3,141
9月	15	1,213	20	961	22	383	7	230	8	4,146	0	0	72	6,933
10月	16	1,805	18	1,081	27	653	7	195	1	5	3	45	72	3,784
11月	15	1,728	25	1,463	29	1,090	10	209	7	1,883	2	11	88	6,384
12月	15	1,147	12	454	21	559	0	0	1	40	1	30	50	2,230
1月	12	1,460	17	808	19	573	1	20	1	20	1	20	51	2,901
2月	12	1,296	12	271	20	437	1	5	1	5	1	10	47	2,024
3月	12	1,059	9	323	20	303	0	0	0	0	0	0	41	1,685
合計	173	16,116	171	7,789	263	6,134	63	4,950	23	6,141	12	284	705	41,414

令和7年度月別観覧者数

	コレクション展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催日数（日）	観覧者数（人）
4月	26	17,804	0	0	104	19,404	130	37,208
5月	27	22,321	0	0	116	31,373	143	53,694
6月	25	14,015	0	0	86	32,369	111	46,384
7月	27	18,650	0	0	78	66,232	105	84,882
8月	27	21,109	0	0	116	89,486	143	110,595
9月	25	24,424	0	0	94	21,666	119	46,090
10月	27	25,501	18	4,487	94	28,263	139	58,251
11月	26	23,314	21	6,659	85	13,647	132	43,620
12月	23	18,447	14	11,671	57	9,766	94	39,884
1月	23	24,318	23	22,071	39	17,382	85	63,771
2月	24	29,951	24	32,291	24	12,778	72	75,020
3月	26	25,213	12	17,696	47	7,705	85	50,614
合計	306	265,067	112	94,875	940	350,071	1,358	710,013

美術館協議会委員

任期　令和7年3月1日から令和9年2月28日まで
（50音順・敬称略・役職名は令和7年度のもの）

会長	浦上　雅司	福岡大学名誉教授
副会長	植野　かおり	公益財団法人立花家史料館館長
学校教育関係者	西田　淳一	福岡市立城西中学校校長
	萬　順	福岡市立千代小学校校長
社会教育関係者	大野　城児	西陵公民館館長
	野口　尚美	福岡市七区男女共同参画協議会代表
	松尾　さち	JOY倶楽部職業指導員
家庭教育関係者	重永　侑紀	特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡理事
学識経験者	李　善姫	韓国語講師
	黒岩　俊哉	九州産業大学芸術学部教授
	瀬戸口　朗子	美術作家
	千　相哲	九州産業大学副学長
	山内　泰	NPO法人ドネルモ代表理事

収集審査員

（50音順・敬称略・役職名は令和7年度のもの）

近現代美術	大日方　欣一	九州産業大学芸術学部　写真・映像メディア学科教授
	佐々木　奈美子	久留米市美術館　学芸課長
	島　敦彦	国立国際美術館館長
古美術	植野　かおり	公益財団法人立花家史料館館長
	塚本　麿充	東京大学東洋文化研究所教授
	宮武　慶之	同志社大学京都と茶文化研究センター　共同研究員

職員

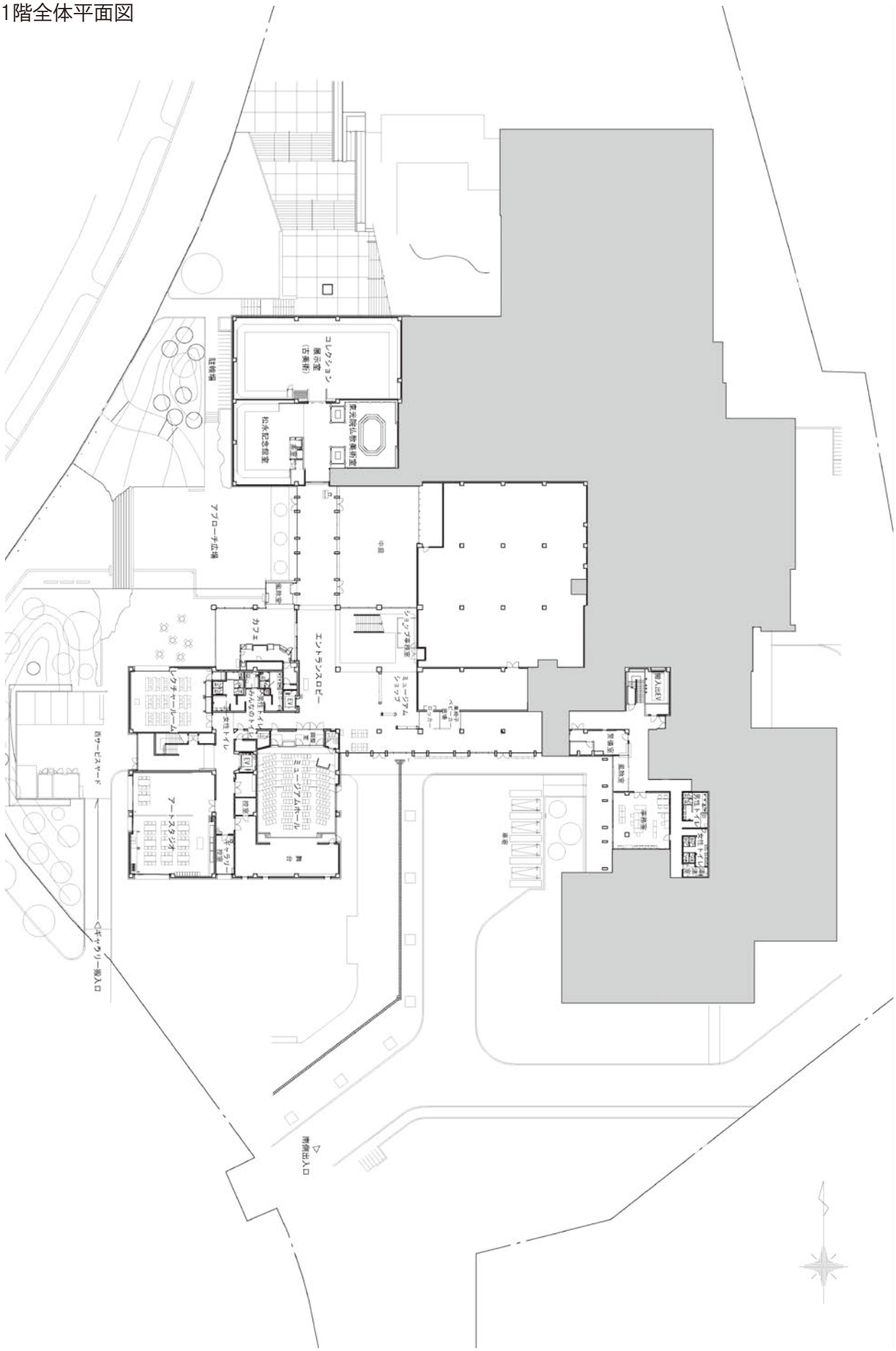
総館長	中山　喜一朗	教育普及係長	髙田　瑠美
館長	岩永　悦子		﨑田　明香
事業管理課長	宮嵜　結香	古美術係長	後藤　恒（兼任）
事業管理係長	吉谷　圭		宮田　太樹
	木村　優紀	会計年度任用職員	上野　宙子
	髙津　佑奈	会計年度任用職員	太田　早耶
学芸課長	後藤　恒	会計年度任用職員	中務　美紀
近現代美術係長	ラワンチャイクン　寿子	会計年度任用職員	冨坂　綾子
	渡抜　由季	会計年度任用職員	姜　知潤
	忠　あゆみ	会計年度任用職員	篠崎　未来
	花田　珠可子		

PFI事業者

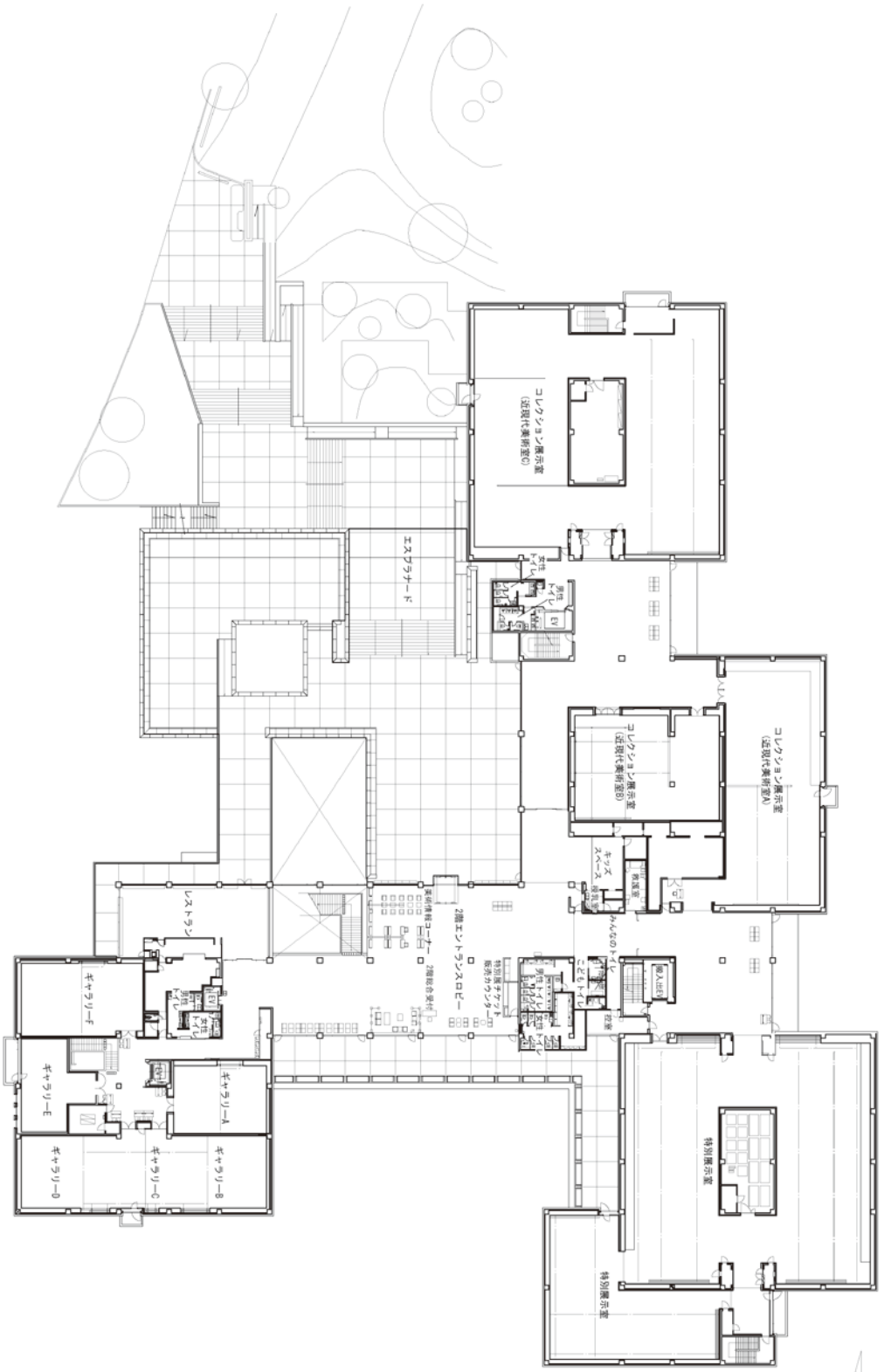
■事業マネージメント：（株）大林組
■維持管理：西鉄ビルマネージメント（株）
■広報・運営：（株）西日本新聞社、（株）西日本新聞イベントサービス
■カフェ・レストラン：ホテルニューオータニ博多［（株）ニューオータニ九州］
■ミュージアムショップ：（株）オークコーポレーション

資　　料

福岡市美術館
1階全体平面図



福岡市美術館
2階全体平面図



施設概要

1．建築概要

所在地　福岡県福岡市中央区大濠公園１番６号
設計　［新築］前川國男建築設計事務所
　［改修］福岡アートミュージアムパートナーズ㈱
　　㈱梓設計）
施工　［新築］戸田建設㈱ほか
　［改修］福岡アートミュージアムパートナーズ㈱
　　㈱大林組）
工期　［新築］1978（昭和53）年１月～ 1979（昭和54）年10月
　［改修］2017（平成29）年６月～ 2018（平成30）年９月
敷地面積　25,845.71㎡
建築面積　8,639.28㎡
延床面積　14,713.66㎡（本館14,630.38㎡）
各階面積　１階：8,271.82㎡（付属棟含む）
　２階：6,242.24㎡
　屋上階：199.60㎡
最高高さ　15.00m
主体構造　鉄筋コンクリート造
主要な外部仕上げ　外壁：磁器質タイル打ち込みPC板
　屋根：耐候性鋼板/瓦棒葺き/フッ素樹脂塗装
　床：器室タイル

主要施設

■展示室
東光院仏教美術室（１階）
古美術企画展示室（１階）
松永記念館室（１階）
近現代美術室Ａ（２階）
近現代美術室Ｂ（２階）
近現代美術室Ｃ（２階）
特別展示室（２階）床面積：1,054㎡、有効展示壁面長：327m、
　天井高：５m・3.9m
ギャラリーＡ（２階）床面積：100㎡、有効展示壁面長：51.12m、
　天井高：４m
ギャラリーＢ（２階）床面積：78.5㎡、有効展示壁面長：40.78m、
　天井高：４m
ギャラリーＣ（２階）床面積：110㎡、有効展示壁面長：39.98m、
　天井高：４m
ギャラリーＤ（２階）床面積：81㎡、有効展示壁面長：41.18m、
　天井高：４m
ギャラリーＥ（２階）床面積：82㎡、有効展示壁面長：40.79m、
　天井高：４m
ギャラリーＦ（２階）床面積：139㎡、有効展示壁面長：61.17m、
　天井高：４m

■その他施設
ミュージアムホール（１階）
　面積：288.2㎡
　定員：180席・車椅子席２席
　付帯：ホール控室、音響機器、照明設備
　用途：講演会、上映会、演劇、コンサートなど
アートスタジオ（１階）
　面積：209.82㎡
　天井高：３m
　定員：72席（６人掛け工作台 12台）
　付帯：流し台、大型鏡、可動壁
　用途：ワークショップ、パフォーマンス、レクチャー、トークショーなど
レクチャールーム（１階）
　面積：124.95㎡
　天井高：３m
　定員：54席（スクール形式３人掛け）、長机18台
　付帯：スクリーン、流し台、音響機器
　用途：講座、研修、ワークショップなど

関連法規

○福岡市美術館条例

昭和54年３月８日
条例第38号
改正　昭和59年３月29日条例第41号
平成元年３月31日条例第34号
平成７年３月９日条例第44号
平成10年10月１日条例第47号
平成14年３月28日条例第38号
平成24年３月29日条例第38号
平成30年３月29日条例第40号
令和５年３月20日条例第35号

(設置)
第１条　市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福岡市美術館（以下「美術館」という。）を福岡市中央区大濠公園に設置する。
(事業)
第２条　美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。
（１）　美術作品その他の美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）を収集し、保管し及び展示すること。
（２）　美術に関する調査及び研究を行うこと。
（３）　美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し及びその奨励を行うこと。
（４）　施設の利用に関すること。
（５）　前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的達成に必要なこと。
(職員)
第３条　美術館に館長その他必要な職員を置く。
(観覧料)
第４条　美術館が主催して展示する美術作品等を観覧しようとする者は、別表第１に定める額の観覧料を納付しなければならない。
(利用の許可)
第５条　美術館の施設（別表第２に掲げるものに限る。）を専用的に利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「許可利用者」という。）が、許可を受けた事項を変更しようとするときもまた同様とする。
２　教育委員会は、前項の許可に際して、美術館の管理上必要な条件を付すことができる。
(平成30条例40・一部改正)
(利用の制限)
第６条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、美術館の利用を拒み、又は前条に規定する許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。
（１）　利用者（利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。）が美術館の設置の目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。
（２）　利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。
（３）　前２号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。
２　前項の措置によつて利用者が損害を受けても、本市はその責めを負わない。
(入館の制限)
第７条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
（１）　他人に迷惑をかけ、若しくは展示品又は施設設備等を損傷するおそれがあると認められるもの
（２）　管理上の指示又は指導に従わないもの
（３）　管理上支障があると認められるもの
(利用する権利の譲渡等の禁止)
第８条　許可利用者は、美術館を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。
(平成30条例40・一部改正)
(特別な設備)
第９条　許可利用者は、美術館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めたときは、この限りでない。
２　教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、許可利用者の負担において特別な設備をさせることができる。
３　前２項に規定する設備は、利用許可期限満了前に許可利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。
４　許可利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれを行い、その費用を許可利用者から徴収する。
(平成30条例40・一部改正)
(使用料)
第10条　次の各号に掲げる者からは、当該各号に定める額の使用料を徴収する。
（１）　許可利用者　別表第２に定める額の使用料
（２）　駐車場を利用する者　別表第３に定める額の駐車場使用料
２　前項第１号の使用料は、前納とする。
３　第１項第２号の駐車場使用料は、駐車場を利用した者が出庫するときに徴収する。
(平成30条例40・一部改正)
(撮影等の許可及び手数料)
第11条　学術研究等のため、美術館に展示され、又は所蔵されている美術作品等の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
２　前項に規定する許可を受けた者からは、１点１回につき2,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。
(平成７条例44・一部改正)
(観覧料等の不還付)
第12条　既納の観覧料、使用料及び手数料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。
(観覧料等の減免)
第13条　教育委員会は、特別の理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。
(利用者の管理義務)
第14条　利用者は、利用期間中その利用に係る美術館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもつて管理しなければならない。
(損害賠償)
第15条　利用者が、美術館の施設、付属施設、展示品又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。
(立入り)
第16条　許可利用者は、美術館の管理の業務に従事する者が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。
(平成30条例40・一部改正)
(美術館協議会)

第17条　博物館法（昭和26年法律第285号）第23条の規定により、美術館に美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2　協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例（平成10年福岡市条例第47号）により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を述べるものとする。
3　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
4　協議会の委員の定数は、20人以内とする。
5　協議会の委員の任期は、２年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
6　協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
（平成10条例47・平成24条例38・令和５条例35・一部改正）
（委任）
第18条　この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
附　則
（施行期日）
1　この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。
（昭和54年教規則第11号により昭和54年11月３日から施行）
（福岡市美術館条例の廃止）
2　福岡市美術館条例（昭和53年福岡市条例第37号）は、廃止する。
（施行日前における許可等）
3　第１項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、この条例の施行の日以後の美術館の利用について教育委員会規則で定めるところにより利用の許可をし、及び使用料を徴収することができる。
附　則（昭和59年３月29日条例第41号）
（施行期日）
1　この条例は、昭和59年４月１日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第２の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
附　則（平成元年３月31日条例第34号）
（施行期日）
1　この条例は、平成元年４月１日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第２の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
附　則（平成７年３月９日条例第44号）
（施行期日）
1　この条例は、平成７年５月１日から施行する。
（経過措置）
2　この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第２の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
附　則（平成10年10月１日条例第47号）抄
（施行期日）
1　この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
（平成10年教委規則第７号により平成11年１月１日から施行）
附　則（平成14年３月28日条例第38号）
この条例は、平成14年４月１日から施行する。
附　則（平成24年３月29日条例第38号）
この条例は、平成24年４月１日から施行する。
附　則（平成30年３月29日条例第40号）
（施行期日）
1　この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
（平成30年教委規則第14号により平成31年３月21日から施行）
（施行日前における利用の許可等）
2　前項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、同日以後の美術館（この条例による改正後の福岡市美術館条例（以下「改正後の条例」という。）別表第２に掲げる施設に限る。）の利用について、改正後の条例の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。
附　則（令和５年３月20日条例第35号）
この条例は、令和５年４月１日から施行する。

別表第１
（平成元条例34・平成14条例38・一部改正）
美術作品等観覧料

区分		金額	
		個人	20人以上の団体
常設展示観覧	一般	200円	１人につき　150円
	大学生・高校生	150円	１人につき　100円
特別展示観覧		１人につき2,000円以内で教育委員会が定める額	

備考
1　常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の観覧をいう。
2　一般とは、大学生・高校生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

別表第２
（昭和59条例41・平成元条例34・平成７条例44・平成30条例40・一部改正）
1　展示室使用料

区分		単位	金額(円)
特別展示室		１日につき	36,600
ギャラリー	A		3,700
	B		2,700
	C		3,700
	D		2,700
	E		2,700
	F		4,600

2　ホール等使用料

区分	単位	金額(円)
レクチャールーム	１時間につき	1,100
アートスタジオ		2,200
ミュージアムホール		2,200

3　ロビー等使用料

区分	単位	金額(円)
ロビー	1日1平方メートルにつき	200
エスプラナード		200
アプローチスペース		200

備考

1　許可利用者が入館者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の2倍の額とする。

2　使用料の算定に当たつて用いる日数又は時間数に1日又は1時間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間とみなす。

3　ギャラリーB又はギャラリーDに係る許可利用者は、ギャラリーCの一部について第5条第1項の許可を受けることができるものとする。この場合において、ギャラリーCに係る使用料の額は、この表の金額に2分の1を乗じて得た額とする。

4　付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

別表第3

（平成30条例40・追加）

駐車場使用料

区分	単位	金額(円)
普通自動車	1台1回につき1時間までごとに	200
準中型自動車		200
中型自動車	1台1回につき1日までごとに	2,000
大型自動車		2,000

備考　普通自動車とは道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条に規定する普通自動車を、準中型自動車とは同条に規定する準中型自動車を、中型自動車とは同条に規定する中型自動車を、大型自動車とは同条に規定する大型自動車をいう。

○福岡市美術館条例施行規則

昭和54年7月2日
教育委員会規則第12号
改正　昭和59年3月31日教規則第3号
昭和61年3月31日教規則第2号
昭和63年3月31日教規則第15号
平成元年3月31日教規則第9号
平成3年3月28日教規則第7号
平成5年3月29日教規則第1号
平成5年3月29日教規則第8号
平成5年6月28日教規則第13号
平成6年3月31日教規則第13号
平成7年3月30日教規則第17号
平成8年3月28日教規則第7号
平成9年3月31日教規則第5号
平成12年3月30日教規則第1号
平成14年3月28日教規則第10号
平成14年7月1日教規則第12号
平成17年3月31日教規則第9号
平成17年7月14日教規則第12号
平成18年10月30日教規則第9号
平成19年3月29日教規則第8号
平成19年6月28日教規則第10号
平成22年3月29日教規則第2号
平成24年3月29日教規則第8号
平成27年10月8日教規則第18号
平成29年3月30日教規則第6号
平成30年3月29日教規則第5号
平成30年10月1日教規則第15号

（趣旨）

第1条　この規則は，福岡市美術館条例（昭和54年福岡市条例第38号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条及び第3条　削除

（平成24教規則8）

（職員）

第4条　福岡市美術館（以下「美術館」という。）に館長及び学芸課長を置く。

2　前項の職員のほか，特に必要なときは，その他の職員を置くことができる。

3　館長及び学芸課長は，職員のうちから命じる。

4　館長は，上司の命を受けて，美術館の事務を統理し，所属職員を指揮監督する。

5　学芸課長は，上司の命を受けて，美術館の事務を掌理し，及び処理する。

6　その他の職員は，上司の命を受けて分担する事務を処理する。

（平成24教規則8・全改）

（職務権限の代行）

第5条　館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において，特に事務取扱者を命じないときは，学芸課長が館長の職務権限を代理して行う。ただし，重要又は異例な事務については，教育次長の指揮を受けなければならない。

2　前項の規定により，館長の職務権限を代理して行う者がないときは，館長の職務権限は，教育次長が行う。

（平成24教規則8・一部改正）

（開館時間）

第6条　美術館の開館時間は，午前9時30分から午後5時30分まで（毎年7月から10月までの間の各月の金曜日及び土曜日（以下「特

例日」という。）においては，午後８時まで）とする。ただし，入館は，午後５時まで（特例日においては，午後７時30分まで）とする。

２　次の各号に掲げる施設の供用時間は，当該各号に定めるとおりとする。

（１）条例別表第２　２　ホール等使用料の表に掲げる施設　午前９時30分から午後９時まで

（２）駐車場　午前９時から午後９時まで

３　前２項の規定にかかわらず，教育長が必要と認める場合は，開館時間又は前項第１号の施設の供用時間（以下「開館時間等」という。）を変更することができる。

（平成５教規則13・平成９教規則５・平成30教規則５・平成30教規則15・一部改正）

（休館日）

第７条　美術館の休館日は，次の各号に掲げるとおりとする。ただし，教育長が必要と認める場合は，これを変更し，又は臨時に休館日を設けることができる。

（１）毎週月曜日（その日が休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。）に当たるときは，その日後において最初の休日でない日）

（２）12月28日から翌年１月４日まで

（平成９教規則５・平成17教規則９・平成30教規則15・一部改正）

（展示室等の利用）

第８条　条例第５条第１項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は，福岡市美術館施設利用許可申請書（様式第１号）により教育長に申請しなければならない。

２　前項の申請は，展示室については，利用しようとする日が１月１日から６月30日までの間である場合にあっては，当該利用しようとする日の属する年の前年の７月31日までに，７月１日から12月31日までの間である場合にあっては，当該利用しようとする日の属する年の１月31日までに行わなければならない。ただし，教育長が必要と認める場合は，この限りでない。

（平成30教規則５・一部改正）

（利用の許可）

第９条　教育長は，美術館の施設の利用を許可したときは，福岡市美術館施設利用許可書（様式第２号）を交付するものとする。

（利用の取止め）

第10条　美術館の施設の利用の許可を受けた者（以下「許可利用者」という。）が，利用の取止めをしようとする場合には，あらかじめ福岡市美術館施設利用取止め届（様式第３号）を教育長に提出しなければならない。

（平成30教規則５・一部改正）

（図書の利用）

第11条　美術館の図書の利用に関し必要な事項については，館長が別に定める。

（利用時間）

第12条　美術館の利用時間には，準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

（開館時間等以外の利用）

第13条　美術館の開館時間等以外及び休館日の利用は，美術館の運営上支障がない場合にのみ許可する。

（平成30教規則５・一部改正）

（撮影等の許可）

第14条　条例第11条第１項の規定により美術作品その他の美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）の撮影，模写，模造等（以下「撮影等」という。）の許可を受けようとする者は，撮影等許可申請書（様式第４号）により館長に申請しなければならない。

２　館長は，前項の許可をしたときは，撮影等許可書（様式第５号）を交付するものとする。

３　撮影等の許可は，観覧者の観覧に支障がなく，かつ，美術作品等の管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

（平成24教規則８・一部改正）

（入館者及び許可利用者の心得）

第15条　美術館の入館者は，次に掲げる事項を守らなければならない。

（１）建物，付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し，又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

（２）他の入館者に迷惑をかけないこと。

（３）所定の場所以外で飲食し，喫煙し，又は火気を使用しないこと。

（４）危険物又は動物を持ち込まないこと。

（５）許可なくして物品を販売し，又は展示しないこと。

（６）館内を不潔にしないこと。

（７）許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。

（８）施設，設備等の利用を終えたときは，これを原状に復すこと。

（９）所定の場所以外に出入りしないこと。

（10）前各号に掲げるもののほか，管理上の必要から美術館の管理の業務に従事する者が行う指示又は指導に従うこと。

２　許可利用者は，前項に規定するもののほか，次に掲げる事項を守らなければならない。

（１）収容人員は，当該施設の所定の人員を超えないこと。

（２）条例第７条各号のいずれかに該当する者に対しては，当該施設への入場を拒絶し，又は退場を命ずること。

（３）火災，盗難，人身事故その他の事故防止に努めること。

（４）当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

（平成30教規則５・一部改正）

（利用後の点検）

第16条　許可利用者は，施設，設備，備品等の使用を終わつたときは，美術館の管理の業務に従事する者の点検を受けなければならない。

（平成30教規則５・一部改正）

（付属設備の使用料）

第17条　美術館の付属設備の使用料の額は，別表第１のとおりとする。

（撮影等の手数料）

第18条　条例第11条第２項に規定する手数料の額は，別表第２のとおりとする。

（使用料及び手数料の徴収）

第19条　条例第10条第１項第１号の使用料は，利用の開始までに徴収する。

２　手数料は，撮影等の開始までに徴収する。

（平成６教規則13・平成30教規則５・一部改正）

第19条の２　駐車場を利用する者は，自動車を入庫させるときに，駐車券（様式第２号の２）の交付を受けなければならない。

２　駐車場を利用した者が自動車を出庫させるときは，前項の規定に基づき交付を受けた駐車券により，条例第10条第１項第２号の駐車場使用料（以下「駐車場使用料」という。）を清算しなければならない。

（平成30教規則５・追加）

（使用料の還付）

第20条　条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は，次の各号に掲げる区分に応じ，当該各号に定める額について行うものとする。

（１）天災地変その他不可抗力により利用できなくなつたとき　全額

（２）許可利用者（展示室の許可利用者を除く。）が利用日の10日

前までに利用取止め届を提出したとき　全額
（３）許可利用者が利用日の５日前（展示室の許可利用者については３月前）までに利用取止め届を提出したとき　５割相当額
（平成30教規則５・一部改正）
（観覧料の減免）
第21条　条例第13条の規定による観覧料の減免は，次の各号に掲げる区分に応じ，当該各号に定める額について行うものとする。
（１）義務教育諸学校の児童又は生徒の引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき　当該観覧料の全額
（２）障がい者（療育手帳，身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神障害者保健福祉手帳（以下「療育手帳等」という。）の交付を受けている者をいう。以下同じ。）又は特定医療費（指定難病）受給者証，特定疾患医療受給者証，先天性血液凝固因子障害等医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（以下「医療受給者証等」という。）の交付を受けている者が常設展示を観覧するとき　当該観覧料の全額
（３）障がい者の介護者が常設展示を観覧するとき　介護者１人の当該観覧料の全額
（４）市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき　当該観覧料の全額
（５）美術館の入館者が国民の祝日に関する法律第２条に規定する文化の日に常設展示を観覧するとき　当該観覧料の全額
（６）前各号に掲げるもののほか，教育長が特に必要と認めるとき　教育長が必要と認める額
２　前項第１号又は第６号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は，福岡市美術館観覧料減免申請書（様式第６号）により教育長に申請しなければならない。ただし，教育長が特別の理由があると認めるときは，この限りでない。
３　観覧料の減免を受けようとする者は，次の各号に掲げる場合の区分に応じ，それぞれ当該各号に定める書類を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。
（１）第１項第２号の規定により減免を受ける場合　療育手帳等又は医療受給者証等
（２）第１項第４号の規定により減免を受ける場合　本市が発行するシルバー手帳又は官公署が発行する証明書等（本人の氏名，住所及び生年月日が記載されているものに限る。）
（昭和59教規則３・追加，昭和63教規則15・平成８教規則７・平成14教規則10・平成14教規則12・平成17教規則９・平成17教規則12・平成24教規則８・平成27教規則18・平成29教規則６・平成30教規則５・一部改正）
（使用料の減免）
第22条　条例第13条の規定による使用料（駐車場使用料を除く。）の減免は，次の各号に掲げる区分に応じ，当該各号に定める額について行うものとする。
（１）本市が主催し，又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき　全額
（２）本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき　５割相当額
（３）教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき　全額
（４）18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき　５割相当額
（５）前各号に掲げるもののほか，教育長が特に必要と認めるとき　教育長が必要と認める額
２　前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は，福岡市美術館使用料減免申請書（様式第７号）により教育長に申請しなければならない。ただし，本市が主催する行事に利用する場合は，この限りでない。
（昭和59教規則３・追加，平成30教規則５・一部改正）
（駐車場使用料の減免）
第22条の２　次に掲げる自動車に係る駐車場使用料は，全額を免除するものとする。
（１）本市の公用自動車
（２）教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事のために利用する自動車
（３）障がい者又は医療受給者証等の交付を受けている者が運転し，又は同乗する自動車
（４）前３号に掲げるもののほか，教育長が特に必要と認める自動車
２　前項第３号の規定により駐車場使用料の減免を受けようとする者は，療育手帳等又は医療受給者証等を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。
（平成30教規則５・追加）
（美術館協議会の会長及び副会長）
第23条　条例第17条に規定する美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各１人を置く。
２　会長及び副会長は，委員の互選によりこれを定める。
３　会長は，協議会を代表し，会務を総理する。
４　副会長は，会長を補佐し，会長に事故があるとき，又は欠けたときは，その職務を代理する。
（昭和59教規則３・旧第21条繰下）
（会議）
第24条　協議会の会議（以下「会議」という。）は，会長が招集する。
２　会議は，委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
３　会議の議事は，出席議員の過半数で決し，可否同数のときは，会長の決するところによる。
（昭和59教規則３・旧第22条繰下）
（委任）
第25条　この規則に定めるもののほか，美術館の管理に関し必要な事項は，教育長が定める。
（昭和59教規則３・旧第23条繰下）
附　則
（施行期日）
１　この規則は，昭和54年11月３日から施行する。ただし，第３項の規定は，公布の日から施行する。
（福岡市美術館条例施行規則の廃止）
２　福岡市美術館条例施行規則（昭和53年福岡市教育委員会規則第14号）は，廃止する。
（施行日前における許可等）
３　条例附則第３項の規定による条例の施行の日前における条例の施行の日以後の美術館の利用の許可及び使用料の徴収については，次の各号の定めるところによる。
（１）美術館の施設の利用の許可については，条例第５条及び第６条並びにこの規則第８条第１項及び第９条の規定の例による。
（２）使用料の徴収については，条例第４条，第10条，第12条及び第13条並びにこの規則第17条，第19条第１項及び第20条の規定の例による。
附　則（昭和59年３月31日教規則第３号）
（施行期日）
１　この規則は，昭和59年４月１日から施行する。
（経過措置）
２　この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第１及び別表第２の規定にかかわらず，この規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け，当該利用又は撮影等に係る使用料及び手数料を利用の開始又は撮影等の開始までに納付している者

の当該使用料及び手数料の額については，なお従前の例による。

附　則（昭和61年３月31日教規則第２号）

この規則は，昭和61年４月１日から施行する。

附　則（昭和63年３月31日教規則第15号）

（施行期日）

1　この規則は，昭和63年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正後の福岡市立今宿野外活動センター条例施行規則第12条，福岡市立少年科学文化会館条例施行規則第15条の３及び福岡市美術館条例施行規則第21条第３項中「シルバー手帳」とあるのは，当分の間，「シルバー手帳若しくは老人福祉手帳」とする。

附　則（平成元年３月31日教規則第９号）

この規則は，平成元年４月１日から施行する。

附　則（平成３年３月28日教規則第７号）

この規則は，平成３年４月１日から施行する。

附　則（平成５年３月29日教規則第１号）

この規則は，平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成５年３月29日教規則第８号）

（施行期日）

1　この規則は，平成５年４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は，当分の間，なお所要の調整をして使用することができる。

附　則（平成５年６月28日教規則第13号）

この規則は，公布の日から施行する。

附　則（平成６年３月31日教規則第13号）

この規則は，公布の日から施行する。

附　則（平成７年３月30日教規則第17号）

（施行期日）

1　この規則は，平成７年４月１日から施行する。ただし，別表第１及び別表第２の改正規定並びに次項の規定は，平成７年５月１日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第１及び別表第２の規定にかかわらず，平成７年５月１日前に同日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け，当該利用に係る使用料又は撮影等に係る手数料を納付している者の当該使用料及び手数料の額については，なお従前の例による。

附　則（平成８年３月28日教規則第７号）

この規則は，平成８年４月１日から施行する。

附　則（平成９年３月31日教規則第５号）

この規則は，公布の日から施行する。

附　則（平成12年３月30日教規則第１号）

この規則は，平成12年４月１日から施行する。

附　則（平成14年３月28日教規則第10号）

この規則は，平成14年４月１日から施行する。

附　則（平成14年７月１日教規則第12号）

この規則は，公布の日から施行する。

附　則（平成17年３月31日教規則第９号）

この規則は，平成17年４月１日から施行する。

附　則（平成17年７月14日教規則第12号）

（施行期日）

1　この規則は，平成17年７月15日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は，当分の間，なお所要の調整をして使用することができる。

附　則（平成18年10月30日教規則第９号）

この規則は，平成18年11月１日から施行する。

附　則（平成19年３月29日教規則第８号）

この規則は，平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成19年６月28日教規則第10号）

この規則は，平成19年７月１日から施行する。

附　則（平成22年３月29日教規則第２号）

この規則は，平成22年４月１日から施行する。

附　則（平成24年３月29日教規則第８号）

この規則は，平成24年４月１日から施行する。

附　則（平成27年10月８日教規則第18号）

この規則は，平成27年11月１日から施行する。

附　則（平成29年３月30日教規則第６号）

この規則は，平成29年４月１日から施行する。

附　則（平成30年３月29日教規則第５号）

（施行期日）

1　この規則は，福岡市美術館条例の一部を改正する条例（平成30年福岡市条例第40号）の施行の日から施行する。

（経過措置）

2　この規則による改正前の福岡市美術館条例施行規則の規定により作成された様式は，当分の間，なお所要の調整をして使用することができる。

附　則（平成30年10月１日教規則第15号）

（施行期日）

1　この規則は，平成31年３月21日から施行する。

（施行日前における利用の許可等）

2　この規則の公布の日以後においては，この規則の施行の日前においても，同日以後の美術館の付属設備の利用について，この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則の規定の例により許可をし，及び使用料を徴収することができる。

別表第１

（昭和59教規則３・平成７教規則17・平成30教規則15・一部改正）

付属設備使用料

種別	区分	単位	金額(円)
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330
映写設備	スライド映写機	一式1時間	440
	8ミリ映写機	一式1時間	440
	16ミリ映写機	一式1時間	770
	プロジェクター	1台1時間	720
	書画カメラ	1台1時間	440
	ブルーレイプレイヤー	1台1時間	200
音響照明設備	スポットライト	一式1時間	220
	マイクロホン	一式1時間	220
	メモリーオーディオプレイヤー	1台1時間	200

備考　付属設備の使用時間に１時間未満の端数があるときは，これを切り上げる。

別表第２

（昭和59教規則３・平成７教規則17・一部改正）

撮影等手数料

区分			金額(円)	備考
撮影	モノクローム	A	220	Aは学術研究を目的とする場合，Bは学術研究以外を目的とする場合とする。
		B	1,650	
	カラー	A	440	
		B	2,200	
模写，模造			1,650	
熟覧			330	

様式第１号

福岡市美術館施設利用許可申請書

年　月　日

（宛先）福岡市教育委員会教育長

申請者　所在地
団体名
代表者
（電話　　）

次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので，許可を申請します。

なお，利用に際しては，福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに，これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

利用する施設			会場責任者 氏名	（電話　）	
利用期間	展示室	年　月　日から 年　月　日まで 日間	搬入	月　日 （　時　分から　時　分まで）	
			展示	月　日から 月　日まで	
	その他の施設	年　月　日（　曜） 時　分から 年　月　日（　曜） 時　分まで	搬出	月　日 （　時　分から　時　分まで）	
利用目的			催物の名称		
入場料	有料（大人　円 学生　円 小人　円）	無料	入場者見込	延べ　人	
館内での頒布物	有（有料・無料）　無				
共催		後援			
利用する付属設備	1　（　）3　（　）5　（　） 2　（　）4　（　）6　（　）				

使用料	施設	付属設備	計
（　年度）	円	円	円

（注）１　利用期間には，搬入，搬出の日も含みます。
　　２　太枠線内のみ記入してください。

様式第２号

第　号

福岡市美術館施設利用許可書

年　月　日

様

福岡市教育委員会教育長　印

年　月　日申請の福岡市美術館の施設の利用については，次のとおり許可します。

利用する施設		
利用期間	展示室	年　月　日から 年　月　日まで 日間
	その他の施設	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで
利用目的		
催物の名称		
利用する付属設備	1　（　）3　（　）5　（　） 2　（　）4　（　）6　（　）	
留意事項	１　福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに，これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。 ２　搬入及び搬出は，次の日時に行ってください。 搬入　年　月　日　時　分から　時　分まで 搬出　年　月　日　時　分から　時　分まで	

様式第2号の2

入　月　日　時　分
出　月　日　時　分
駐車券【兼料金票】
福岡市美術館専用駐車場

様式第３号

福岡市美術館施設利用取止め届

年　月　日

（宛先）福岡市教育委員会教育長

申請者　所在地
団体名
代表者　㊞
（電話　）

次のとおり利用を取り止めますので，福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。

許可年月日	年　月　日	許可番号	第　号
利用期間	年　月　日　時　分から　年　月　日　時　分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料　円　付属設備使用料　円		
取止めの理由			

様式第４号

撮影等許可申請書

年　月　日

（宛先）福岡市美術館長

申請者　住　所
氏　名
（電話　）

次のとおり美術作品等の撮影等をしたいので，許可を申請します。

なお，撮影等に際しては，福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに，これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

撮影等の目的			
美術品等の名称	点数	作者名	
撮影等の日時			
方法	撮影・模写・模造・熟覧		
備考			

手数料	撮影	モノクローム	点	円	計
		カラー	点	円	
	模写・模造		点	円	
	熟覧		点	円	円

（注）　太枠線内のみ記入してください。

様式第５号

第　　号

撮　影　等　許　可　書

年　月　日

様

福岡市美術館長　　㊞

年　月　日申請の美術作品等の撮影等を許可します。

撮影等の目的			
美術品等の名称		点数	作者名
撮影等の日時			
方法	撮　影・模　写・模　造・熟　覧		
留意事項	1　福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに，これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従つてください。 2　撮影等に当たつては，美術館の管理の業務に従事する者の指示に従つてください。		

様式第６号

福岡市美術館観覧料減免申請書

年　月　日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者　所在地

団体名

代表者　　㊞

(電話　　)

福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。

観覧目的	
観覧日時	年　月　日(　曜日)　時　分から
観覧者数	小学生　学年　人 中学生　学年　人 その他　人 引率者　人

様式第７号

福岡市美術館使用料減免申請書

年　　月　　日

（宛先）福岡市教育委員会教育長

申請者　所在地
団体名
代表者
（電話　　）

福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。

事業名		
主催者名（共催者名）		
後援者名		
利用施設		
利用期間		年　月　日（　曜日）　時　分から 年　月　日（　曜日）　時　分まで
本市が後援する場合又は共催	※本市が負担する経費の額	円
	当該事業に要する経費の総額	円
摘要		

（注）　※印の欄は，経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

利用案内

開館時間

9：30 ～ 17：30（7 ～ 10月の金・土曜日は9：30 ～ 20:00）
※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日／年末年始
※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
※年末年始休館期間は12月28日～１月４日

観覧料

【コレクション展・企画展】
一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料
ただし、以下の証明書等保持者は提示で観覧無料。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・障害者手帳アプリ「ミライロID」（以上は介護者１人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（運転免許証等）
※（　）内は20名様以上の団体料金。
※クレジットカード、電子マネー、QRコード決済等利用可。
【特別展】
特別展によって金額が異なる。

交通案内

【福岡市地下鉄】
空港線　大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、
　　3・6番出口より徒歩10分
七隈線　六本松駅（科学館前）下車、
　　2番出口より徒歩10分
【西鉄バス】 博多駅から
系統番号13　福岡市美術館東口下車、徒歩３分
系統番号６・12・113・200 ～ 205・208
　赤坂三丁目下車、徒歩５分
系統番号６- １　福岡城・NHK放送センター入口下車、
　徒歩３分
【車】
福岡都市高速「西公園ランプ」から約５分
福岡都市高速「百道ランプ」から約10分
【福岡市美術館専用駐車場】
利用時間　9:00 ～ 21:00（開館日のみ）
使用料　　普通車（26台）：１時間200円、
　　バス（５台）：１回2,000円／要事前予約



令和７年度
福岡市美術館活動の記録

編集・発行　福岡市美術館
〒810-0051　福岡市中央区大濠公園1-6
TEL：092-714-6051
印　　刷　株式会社西日本新聞プロダクツ
発行年月日　2026年9月30日

©福岡市美術館　2026年